

○大谷大学学則

(1949年2月21日制定)
最近改正 2025年3月25日

第1章 総則

(目的)

第1条 大谷大学(以下「本学」という。))は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教の精神に則り、人格を育成するとともに、仏教並びに人文に関する学術を教授研究し、広く世界文化に貢献することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本学は、前条の目的及び使命の達成並びにその教育研究水準の向上に資するため、本学における教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検・評価を行う組織・項目など、実施に必要な体制については別に定める。

第2章 組織

(学部)

第3条 本学に次の学部を置く。

- (1) 文学部
- (2) 社会学部
- (3) 教育学部
- (4) 国際学部

2 各学部の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- (1) 文学部は、歴史の中で蓄積されてきた多様な文化的所産に学ぶことを通して、人間と世界に関わる根本的な問題を解明し、深く自己を洞察しつつ現代社会を主体的に生きることのできる人物の養成をめざす。
- (2) 社会学部は、現代社会の諸課題に向き合うことを通して、地域社会など身近な場において、異なる他者と敬い合いながら生きることのできる世界を構築する構想力と実践力を身につけた人物の養成をめざす。
- (3) 教育学部は、純真な人格形成を目指す高い教職意識と責任感を持ち、社会的常識や対人関係能力を備えて子どもたちの声に耳を傾けることのできる、慈育の精神に富んだ専門職業人の養成をめざす。
- (4) 国際学部は、グローバル社会において、建学の精神に基づいて自己のアイデンティティを確立し、多様な他者の存在に気づき、寄りそうことのできる人物の養成をめざす。

(学科)

第3条の2 各学部に必要な学科を置く。

- (1) 文学部 真宗学科、仏教学科、哲学科、歴史学科、文学科
- (2) 社会学部 現代社会学科、コミュニティデザイン学科
- (3) 教育学部 教育学科
- (4) 国際学部 国際文化学科

2 各学科の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- (1) 文学部

- ア 真宗学科は、釈尊の教説や親鸞の著作などに依り、自己を問い、人間を問うとともに、親鸞思想とその思想的背景の研究を進め、仏教精神に基づく豊かな人物の養成をめざす。
- イ 仏教学科は、仏教の専門的な知見を通して深く人間を理解し、現代社会のさまざまな問題の根底に存在する課題を見抜いて、他とともに生きようとする人物の養成をめざす。
- ウ 哲学科は、人間や世界にかかわる根本的な問題を東西の思想伝統を踏まえつつ考究し、多様かつ柔軟な視点と論理的思考力を培い、現代の諸問題に対処することのできる人物の養成をめざす。
- エ 歴史学科は、日本と世界の歴史及びそれと不可分な諸宗教・思想、とくに仏教を対象とした歴史学研究を通じて、現代社会で直面するさまざまな課題を多角的かつ的確に分析し、それに対処する人物の養成をめざす。
- オ 文学科は、日本と中国の言葉や文学を研究対象とし、テキストの精読・分析・創出を通して言語感覚の錬磨と多様な知識の修得に励み、人間と社会への理解力及び洞察力を持った人物の養成をめざす。

(2) 社会学部

- ア 現代社会学科は、現代の多様な社会文化事象を対象に、社会学と関連学問の視点と方法に基づく主体的探究学修を進めることを通じて、現代社会の特性と自らの立ち位置を的確に把握し、人々の間でビジョンとルールを提案・交渉することができる人物の養成をめざす。
- イ コミュニティデザイン学科は、身近な地域コミュニティで生起する諸課題に対して、「人と人をつなぐ」実践手法を進めることにより、広い領域内容から「コミュニティ」のこれからを「デザイン」していく理論とスキルを身につけた人物の養成をめざす。

(3) 教育学部

教育学科初等教育コースは、仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う教育者の養成をめざす。幼児教育コースは、仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う保育者の養成をめざす。

(4) 国際学部

国際文化学科は、欧米とアジア地域を研究対象とし、その文化事象を考究することで自己と他者理解に努め、さまざまな背景をもつ人びとに寄りそい、仏教的な「相互敬愛」を実現する人物の養成をめざす。

(収容定員)

第3条の3 各学部学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	真宗学科	60名	240名
	仏教学科	25	100
	哲学科	50	200
	歴史学科	105	420
	文学科	78	312
	計	318	1,272
社会学部	現代社会学科	120	480
	コミュニティデザイン学科	100	400
	計	220	880

教育学部	教育学科 ※	130	520
	(初等教育コース)	(50)	(200)
	(幼児教育コース)	(80)	(320)
	計	130	520
国際学部	国際文化学科	100	400
	計	100	400
計		768	3,072

※教育学部教育学科には、初等教育コース(入学定員 50 名／収容定員 200 名)、幼児教育コース(入学定員 80 名／収容定員 320 名)の 2 コースを置く。

(大学院)

第 4 条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(研究室・図書館・博物館・研究所・体育館)

第 5 条 本学に研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館を置く。

2 研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館に関する規程は、別に定める。

第 3 章 教育研究実施組織等

(教育研究実施組織等)

第 6 条 本学は、教育研究上の目的を達成するため、その規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、教育研究実施組織等を編成する。

2 本学は、教育研究実施組織等を編成するに当たって、次の教職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教育職員(教授、准教授、講師、助教)
- (3) 事務職員(幹事、書記、書記補)
- (4) その他必要な教職員

第 4 章 教授会

(教授会)

第 7 条 本学に教授会を置く。

2 教授会の運営に関する必要事項については、別に定める。

第 8 条 削除

第 9 条 削除

第 10 条 削除

第 11 条 削除

第 12 条 削除

第 5 章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第 13 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

2 学年を分けて次の 2 期とする。

前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

3 学長は、前項の学期を変更することができる。

(休業日)

第14条 本学における休業日を次のとおり定める。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 開学記念日 10月13日

(4) 春期休業 3月20日から3月31日まで

(5) 夏期休業 8月1日から9月10日まで

(6) 冬期休業 12月27日から翌年1月7日まで

2 学長は、前項第1号から第3号までに定めるもののほか、臨時に休業日を定めることができる。

3 学長は、第1項の休業日を変更することができる。

(授業期間)

第15条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第16条 修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第17条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、第37条第1項又は第38条第1項の規定により入学した学生は、第37条第2項又は第38条第2項に定められた修業年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。なお、再入学者又は復籍者は、過去に在学していた年数を在学年数に含めるものとする。

第7章 教育課程

(開設授業科目)

第18条 授業科目は、必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成することを考慮し、その内容により、共通基礎科目、学科専門科目及び現代総合科目に分ける。

2 前項の科目に加え、大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目及び資格の取得に必要な科目を置く。

3 前2項の授業科目及び単位数は、別表Ⅰ-1のとおりとする。

(卒業の要件)

第19条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、次の基準及び卒業単位一覧表に基づいて、124単位以上を履修しなければならない。

(1) 共通基礎科目

教育目標を達成するための根幹をなす科目を各専門共通の基礎科目として開講し、ブッダと親鸞の基本思想を通して人間について考える「人間学」、高校までの学びから大学の学びへの転換と専門への接続をはかる「大学導入」及びグローバル化時代の共通言語である英語をはじめ、様々な言語を学びながら文化の多様性に触れる「外国語」を置く。

ア 総合科目 計8単位以上

「人間学Ⅰ」 4単位

- 「人間学Ⅱ」 4単位以上
- イ 大学導入
「学びの発見」 2単位
「ICT入門」 2単位
- ウ 必修外国語
文学部
「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 4単位
「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」 4単位
社会学部
「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 0単位以上
「英語Ⅱ」 4単位及び「初修外国語Ⅱ」 0単位以上
教育学部
教育学科初等教育コース
「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 0単位以上
「英語Ⅱ」 4単位及び「初修外国語Ⅱ」 0単位以上
教育学科幼児教育コース
「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 0単位以上
国際学部
「英語Ⅰ」 4単位及び「初修外国語Ⅰ」 4単位
「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」 4単位
- エ 選択外国語
文学部 0単位以上
社会学部 0単位以上
教育学部 0単位以上
国際学部 2又は8単位以上

(2) 学科専門科目

各学部、学科、コースの専門的な学びを修得するための科目を学科専門科目として開講し、専門の体系的理解を促す講義や、知的探究心を呼び起こす実践研究等の科目を置くとともに、自らの課題を専門分野の視点から問い直し、発表と議論を通して研究を深める演習の科目を置き、これらの学びをふまえて卒業研究の作成をめざす。

- 文学部 計66単位以上
社会学部 計72単位以上又は80単位以上
教育学部 計86単位以上
国際学部 計66単位以上又は70単位以上

各学部学科の区分の詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

(3) 現代総合科目

専門分野の補完や幅広い現代教養（キャリア形成・自然生命・歴史文化）のための科目を現代総合科目として開講し、各自の興味や関心にあわせ、3つの系ごとに自由に科目を選択して学習する。

- 文学部 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ4単位以上、合計12単位以上
社会学部 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ2単位以上、合計6単位以上

教育学部 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ2単位以上、合計6単位以上

国際学部 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ4単位以上、合計12単位以上

詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

(4) 自己選択科目

他学部又は他学科開講科目で履修した単位並びに第26条の2、第26条の3及び第26条の4で認定された単位を自己選択科目として認定することができる。詳細は「大谷大学履修規程」に定める。

卒業単位一覧表

学部		文学部					社会学部			教育学部		国際学部
科目群\学科		真宗学科	仏教学科	哲学科	歴史学科	文学科	現代社会学科	コミュニケーションデザイン学科		教育学科		国際学科
								情報デザイン・メディア・アートコース	社会福祉学コース	初等教育コース	幼児教育コース	
共通基礎科目	総合科目	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上	8以上
	大学導入	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	必修外国語	12	12	12	12	12	8以上	8以上	8以上	8以上	4以上	12
	選択外国語	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	2又は8以上
	小計	24以上	24以上	24以上	24以上	24以上	20以上	20以上	20以上	20以上	16以上	26又は32以上
学科専門科目	演習	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	概論	4以上	4以上	8以上	10以上	8以上	8	8以上	8以上	4	4	4
	講義	16以上	20以上	22以上	16以上	20以上	20以上	28以上	34以上	36以上	34以上	18又は26以上
	実践研究	22以上	18以上	12以上	16以上	14以上	20以上	20以上	14以上	22以上	24以上	12又は24以上
	卒業研究(卒業論文・卒業研究・卒業制作)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	小計	66以上	66以上	66以上	66以上	66以上	72以上	80以上	80以上	86以上	86以上	66又は70以上
現代総合科目	キャリア形成系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	2以上	2以上	2以上	2以上	2以上	4以上
	自然生命系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	2以上	2以上	2以上	2以上	2以上	4以上
	歴史文化系	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	2以上	2以上	2以上	2以上	2以上	4以上
	小計	12以上	12以上	12以上	12以上	12以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	12以上
自己選択科目		0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上
合計		124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上	124以上

2 前項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第25条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(副専攻)

第19条の2 第18条に規定する開設授業科目のうち、特定課題に関する科目で構成する副専攻を開設し、その学習成果を認定することができる。

2 副専攻に関し必要な事項については、別に定める。

(資格の取得)

第20条 本学において中等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる中等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学科	種類	教科	基礎資格
文学部	真宗学科	高等学校教諭一種	宗教科	学士の学位を有すること。
		中学校教諭一種		
	哲学科	高等学校教諭一種	公民科	
		中学校教諭一種	社会科	
	歴史学科	高等学校教諭一種	地理歴史科	
		中学校教諭一種	社会科	
	文学科	高等学校教諭一種	国語科	
		中学校教諭一種		
教育学部	教育学科	高等学校教諭一種	数学科	
	初等教育コース	中学校教諭一種		
国際学部	国際文化学科	高等学校教諭一種	英語科	
		中学校教諭一種		

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の2 本学において初等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる初等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学 科・コ ー ス	種 類	基礎資格
教育学部	教育学科 初等教育コース	小学校教諭一種	学士の学位を有すること。
	教育学科 幼児教育コース	幼稚園教諭一種	

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の3 本学において学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得すると共に、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 その他学校図書館司書教諭に関する必要事項は、別に定める。

第21条 本学に社会教育法第9条の4第3号及び社会教育主事講習等規程第11条の規定に基づき、社会教育主事としての素養を与えるために、「社会教育に関する専門科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他社会教育に関する必要事項は、別に定める。

第21条の2 本学に博物館法及び同法施行規則に定める「博物館学に関する専門科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他博物館学に関する必要事項は、別に定める。

第21条の3 本学に図書館法及び同法施行規則に定める「図書館学に関する専門科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他図書館学に関する必要事項は、別に定める。

第21条の4 真宗大谷派教師の資格取得に必要な科目として「真宗大谷派教師資格に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他真宗大谷派教師資格取得に関する事項は、別に定める。

第22条 社会学部コミュニティデザイン学科において社会福祉士国家試験受験資格を取得するために「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他社会福祉士国家試験受験資格取得に関する必要事項は、別に定める。

第22条の2 教育学部において保育士資格を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。

3 本学において取得できる保育士資格は、次のとおりとする。

学部	学科	種類	基礎資格
教育学部	教育学科	保育士資格	学士の学位を有すること。

4 その他保育士に関する必要事項は、別に定める。

第22条の3 保育心理士の資格取得に必要な科目として「保育心理士資格に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他保育心理士資格取得に関する事項は、別に定める。

第8章 履修の方法、学習の評価及び進級

(コース登録)

第23条 学生は、コース登録を別に定める方法により行わなければならない。

(履修登録)

第24条 学生は、当該年度において履修すべき授業科目を定められた時期に登録しなければならない。
登録は、聴講登録及び受験登録とする。

2 学生は、前項により登録をした授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することができない。

(単位)

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第25条の2第1項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については、その制作に必要な学修等の成果を評価し、8単位とする。

3 その他授業方法に応じた単位数の詳細は、「大谷大学履修規程」に定める。

(授業の方法)

第25条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、面接授業の授業科目の一部として、同時性又は即応性を持つ双方向性（対話性）を有し、面接授業に相当する教育効果を有すると認められる遠隔授業を実施する授業時数が半数を超えない範囲で行われる授業科目については、面接授業の授業科目として取り扱い、第19条第2項に規定する上限の算定には含めない。なお、対象となる授業科目や具体的な実施方法については、別に定める。

3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位修得の認定)

第26条 本学は、授業科目を履修し、授業に3分の2以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。

2 単位修得の認定は、試験、論文その他の方法により学修の成果を評価するものとし、その方法は、各授業科目担当者がこれを定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第26条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学(専門職大学を含む。以下同じ。)、短期大学(専門職短期大学を含む。以下同じ。)、高等専門学校及び専修学校の専門課程(以下「大学等」という。))又は高等学校の専攻科及び中等教育学校の後期課程の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。以下「高等学校等の専攻科」という。))において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなし、与えることのできる単位数は、編入学、転入学又は再入学の場合を除き、本学において修得した単位を含めて40単位を超えないものとする。

3 編入学又は転入学の場合の入学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

4 再入学の場合の退学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

5 再入学者が、退学から再入学までの期間中に大学等又は高等学校等の専攻科において修得した単位がある場合は、前項で認定された単位を除き、本学において修得した単位を含めて40単位を超えない範囲で単位認定することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第26条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、前条の単位数と合わせて40単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 再入学の場合は、本学を退学後、再入学までの期間中に大学又は短期大学において修得した単位の認定が40単位に充たない者についてのみ、前項の規定を適用する。ただし、前条第4項で認定された単位

は除くものとする。

(外国の大学又は外国の短期大学における単位の修得)

第26条の4 外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)又は外国の短期大学(専門職短期大学に相当する外国の短期大学を含む。以下同じ。)で単位を修得した場合は、前2条の規定を準用する。この場合修得したものとみなすことができる単位数は、前2条の単位数と合わせて40単位を超えないものとする。

(大学以外の教育施設等における学修)

第26条の5 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、前3条の単位数と合わせて40単位を超えないものとする。

2 前項に関する規程は、別に定める。

(試験等の時期)

第27条 試験等の時期は、原則として学期末とするが、学長が特に必要と認めた場合は、試験の時期を変更することができる。なお、各授業科目担当者が必要と認めたときは、臨時にこれを行うことができる。

(卒業研究)

第28条 卒業研究は、卒業論文、卒業研究、卒業制作等のいずれかの学修の成果を評価する。評価するものは、学部学科ごとに指定する。詳細は、「大谷大学履修規程」に定める。

2 卒業研究の題目は、指導教員の承認を得て決定するものとする。

3 卒業研究の審査は、口述試問を必要とする。

(受験資格)

第29条 当該授業科目の履修について、定められた時期に登録していない者は、試験を受けることができない。

2 前項のほか、懲戒のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は、原則として受けることができない。

(追試験)

第30条 疾病等正当な事由によって受験できなかった者については、願い出の後、各学部長が認めた限度内において追試験を行うことができる。

2 追試験に関する必要事項は、別に定める。

(学習の評価)

第31条 授業科目の成績は、次のとおりとし、S、A、B、Cを合格とする。

S…… (100点～90点)

A…… (89点～80点)

B…… (79点～70点)

C…… (69点～60点)

F…… (59点～0点)

K…… (棄権・放棄により評価できないもの)

(進級)

第32条 各学年に進級の基準を設け、これに達しない者は、進級を認めない。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 入学

(入学の時期)

第33条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

(入学資格)

第34条 本学の第1学年に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
 - (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 高等学校卒業程度認定試験規程により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - (7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (入学の出願)

第35条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に別表Ⅱに定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

- 2 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第36条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(再入学)

第37条 願いにより本学を退学した者が、退学後5年以内に再び本学へ入学を希望するときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

- 2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、学長が決定する。
- 3 再入学について必要な事項は、別に定める。

(編入学及び転入学)

第38条 次の各号のいずれかに該当する者で本学への編入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

- (1) 大学(外国の大学を含む。)を卒業した者
- (2) 大学(外国の大学を含む。)を中途退学(第1学年又は第2学年を修了)した者
- (3) 短期大学(外国の短期大学を含む。)、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者並びに前期課程及び後期課程に区分している専門職大学の前期課程を修了した者
- (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者
- (5) 高等学校等の専攻科を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者
- (6) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し上記各号と同等以上の学力があると認めた者

- 2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、学長が決定する。

3 編入学及び転入学について必要な事項は、別に定める。

(入学志願者の可否の決定)

第38条の2 学長は、前3条の選考の結果について教授会で審議し、その意見を十分に考慮したうえで、入学志願者の可否を決定する。

(入学手続及び入学許可)

第39条 第36条、第37条及び第38条の規定による選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書、保証人の保証書及びその他必要な書類を提出するとともに定められた学費等を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第40条 保証人は、学生の在学中における、所定の納付金を遅滞なく納入することを含む一切の責任を負う者とする。

2 保証人の転居、改印、死亡等のことがあった場合には、その旨を届け出なければならない。ただし、保証人の死亡その他の事由によって、保証人の変更を必要とする場合は、改めて保証書を提出しなければならない。

第10章 休学、復学及び留学

(休学)

第41条 疾病、事故その他特別の理由により、2カ月以上修学することができない者は、その事由を具して保証人連署の上、休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長はこの者に対して休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第42条 休学期間は、1学期又は1年とする。ただし、引きつづき休学を要するときは特別の事由がある場合に限り、更に1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 引きつづき休学を要する場合は、その1カ月前までに休学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第16条及び第17条に定める在学期間には算入しない。

(休学中の科目履修)

第43条 学生は、休学のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は原則として受けることができない。

(復学)

第44条 休学者が復学しようとするときは、復学しようとする学期の1カ月前までに所定の様式により復学願を提出し、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、前期又は後期の始めとする。

(留学)

第44条の2 学長が教育上有益と認めたときは、外国の大学又は外国の短期大学に留学を許可することができる。

2 留学に関する取扱い、別に定める。

第11章 転学、退学、除籍、復籍及び転籍

(転学)

第45条 本学の学生が他の大学へ転学を希望する場合は、事前に退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

(退学)

第46条 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人連署の上、所定の様式により退学願に学生証を添えて提出し、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第47条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 規定された納金の義務を怠った者
- (2) 第17条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第42条第1項及び第3項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (4) 長期間に亘り行方不明の者
- (5) 死亡した者

(復籍)

第48条 前条第1号により除籍された者は、除籍後3年以内に限り、学長の許可を得て復籍することができる。

2 復籍について必要な事項は、別に定める。

(転籍)

第48条の2 転籍は、原則として認めない。

2 入学時の所属学部学科から学部内の他の学科又は他の学部学科へ転籍を希望する者があるときは、別に定める規程に基づき、教授会の議を経て、学長が決定する。

第12章 卒業及び学位

(卒業)

第49条 各学部にて4年(第37条第1項及び第38条第1項の規定により入学した者については、第37条第2項及び第38条第2項に定められた修業年数)以上在学し、第19条に定める所定の単位を修得した者については、教授会で審議し、その意見を十分に考慮したうえで、学長が卒業を認定する。

(学位)

第50条 本学は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

第13章 賞罰

(表彰)

第51条 学生として他の模範となる者に対しては、教授会の議を経て、学長がこれを表彰する。

(懲戒)

第52条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、補導会議の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 補導会議については、別に定める。

第14章 学寮

(学寮)

第53条 本学に学寮を置き、学生の教育と厚生に資する。

2 学寮の規程は別に定める。

第15章 厚生施設

(厚生施設)

第54条 本学に厚生補導のための施設として医務室、相談室、食堂等を置く。

2 前項の運営に関し、必要な事項があるときは別に定める。

第16章 研修員、科目等履修生、聴講生及び外国人留学研究生

(研修員)

第55条 本学において本学の研究・教育の目的に沿い、特定の研究課題のもとに研究指導を受けることを希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、研修員としてこれを許可することができる。

2 研修員の研修費は、別表Ⅱに定める。

3 その他研修員に関する必要事項は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第56条 本学において特定の授業科目の履修及び単位の修得を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生には、第26条及び第31条の規定を準用して、履修した授業科目の単位を与えることができる。

3 科目等履修生の選考料、登録料及び履修料は、別表Ⅱに定める。

4 その他科目等履修生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(聴講生)

第56条の2 本学において特定の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、聴講生としてこれを許可することができる。

2 聴講生の選考料、登録料及び聴講料は、別表Ⅱに定める。

3 その他聴講生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(外国人留学研究生)

第56条の3 本学において研究指導を受けることを希望する外国人留学生があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、外国人留学研究生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学研究生の選考料及び研究費等は、別表Ⅱに定める。

3 その他外国人留学研究生に関する必要事項は、別にこれを定める。

第17章 学費及びその他の費用

(学費)

第57条 学生は、学費を所定の期日までに納入しなければならない。

2 学費とは入学金、授業料及び施設費をいい、その額は別表Ⅱに定める。

3 前項に規定する学費の額は、改定することがある。

(その他の費用)

第58条 前条第2項に定める学費のほか、実験実習費その他教育に必要な費用を徴収することがある。

(納入期日)

第59条 学費は、毎年前期及び後期の2回に分け、次の期日までに納入しなければならない。

(1) 前期分 4月26日まで

(2) 後期分 10月12日まで

(延納)

第60条 経済的理由により修学が困難な学生は、学費を延納することができる。延納を希望する者は、次に定める期日までにその事情を詳記し、保証人連署捺印の上、延納許可願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(1) 前期分 4月15日まで

(2) 後期分 9月30日まで

第61条 延納の許可を得た者は、次に定める期日までに一括により学費を納入しなければならない。

(1) 前期分 7月31日まで

(2) 後期分 1月31日まで

第62条 削除

(学年の途中で卒業する場合の学費)

第63条 前期(9月30日付)をもって卒業する見込みの者は、前期分の学費を所定の期日までに納入しなければならない。

(退学の場合の学費)

第64条 学期の途中で退学する者の当該学期分の学費は、納入しなければならない。

(懲戒処分を受けた場合の学費)

第65条 停学期間中の学費は、納入しなければならない。

(学費の減免)

第65条の2 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料及び施設費の5割を減額する。

2 大学等における修学の支援に関する法律第8条に定める授業料等減免対象者として認定された者は、大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条に定められる区分に基づき、入学金及び授業料を減額する。

第66条 休学を許可され、又は命ぜられた者についての当該期間中の学費(入学金を除く。)は、全額を免除する。ただし、別表Ⅱに定める在籍料を納入しなければならない。

第67条 大谷大学短期大学部又は九州大谷短期大学を卒業し、本学へ編入学する者の学費は、入学金に限り、5万円を減額する。

2 再入学者の学費は、入学金に限り、5万円を減額する。

第68条 学生の保証人が天災又はこれに準ずる非常災害を受けた場合は、その実情を調査の上、学長は該当者の学費(入学金を除く。)を、免除又は減額することがある。

第68条の2 外国人留学生の学業を勧奨し、経済的負担を軽減することを目的に、学費の一部を減免することがある。

(学費等の不還付)

第69条 既納の検定料、学費等は、理由のいかんにかかわらず還付しない。ただし、特別な事情がある

場合については別に定める。

第18章 公開講座

(公開講座)

第70条 学生並びに社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

付 則

- 1 この学則は、1949年2月21日から施行する。
- 2 この学則は、1952年4月1日から施行する。
- 3 この学則は、1953年4月1日から施行する。
- 4 この学則は、1965年4月1日から施行する。
- 5 この学則は、1972年4月1日から施行する。
- 6 この学則は、1973年4月1日から施行する。
- 7 この学則は、1975年4月1日から施行する。
- 8 この学則は、1976年4月1日から施行する。
- 9 この学則は、1978年4月1日から施行する。
- 10 この学則は、1979年4月1日から施行する。
- 11 この学則は、1980年4月1日から施行する。
- 12 この学則は、1980年7月10日から施行する。
- 13 この学則は、1981年4月1日から施行する。
- 14 この学則は、1981年6月1日から施行する。
- 15 この学則は、1982年4月1日から施行する。
- 16 この学則は、1982年10月1日から施行する。
- 17 この学則は、1983年4月1日から施行する。
- 18 この学則は、1984年4月1日から施行する。
- 19 この学則は、1985年4月1日から施行する。
- 20 この学則は、1986年4月1日から施行する。
- 21 この学則は、1986年6月1日から施行する。
- 22 この学則は、1987年4月1日から施行する。
- 23 この学則は、1988年4月1日から施行する。
- 24 この学則は、1989年4月1日から施行する。
- 25 この学則は、1990年4月1日から施行する。
- 26 この学則は、1991年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真宗学科	仏教学科	哲 学 科	社会学科	史 学 科	文 学 科
入学定員	130人	130人	130人	130人	130人	130人

ただし、第20条については、1990年度入学生より適用する。

- 27 この学則は、1992年4月1日から施行する。

ただし、第18条、第19条及び第25条については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

- 28 この学則は、1993年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1993年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真 宗 学 科	仏 教 学 科	哲学科	社 会 学 科	史学科	文学科	国際文 化学科
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人	180人

- 29 この学則は、1994年4月1日から施行する。

ただし、第26条の2及び第26条の3については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

- 30 この学則は、1995年4月1日から施行する。

- 31 この学則は、1995年5月23日から施行する。(別表Ⅱ・入学検定料)

ただし、別表Ⅱ中授業料については、1996年4月1日から施行する。

- 32 この学則は、1996年4月1日から施行する。

- 33 この学則は、1997年4月1日から施行する。

ただし、第19条、第25条及び第26条の2については、1997年度入学生及び1999年度編入学生から適用する。

- 34 この学則は、1998年4月1日から施行する。

- 35 この学則は、1999年4月1日から施行する。

- 36 この学則は、2000年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年度 \ 学科	真宗 学科	仏教 学科	哲 学 科	社会 学科	史 学 科	文 学 科	国際 文化 学科	人文 情報 学科
2000年度	92人	94人	98人	150人	98人	98人	100人	100人
2001年度	89人	88人	91人	150人	91人	91人	100人	100人
2002年度	86人	82人	84人	150人	84人	84人	100人	100人
2003年度	83人	76人	77人	150人	77人	77人	100人	100人
2004年度	80人	70人	70人	150人	70人	70人	100人	100人

- 37 この学則は、2001年4月1日から施行する。

- 38 この学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、第6条については、2002年6月1日から施行する。

- 39 この学則は、2003年4月1日から施行する。

- 40 この学則は、2004年4月1日から施行する。

- 41 この学則は、2004年12月6日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。別表Ⅱ中、研修費は2006年度新規受入の研修員から適用する。

- 42 この学則は、2005年3月17日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。

ただし、第18条、第19条については、2005年度入学生及び2007年度編入学生から適用する。

- 43 この学則は、2005年9月21日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。

- 44 この学則は、2006年3月23日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。

- 45 この学則は、2006年12月7日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。

- 46 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。

- 47 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条については、2008年度入学生及び2010年度編入学生から適用する。

- 48 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。
- 49 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条の2については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 50 この学則は、2008年7月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第19条については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 51 この学則は、2008年10月20日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。
- 52 この学則は、2009年3月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1(第18条関係)2学科科目(3)哲学科、(4)社会学科及び(9)教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科)及び5「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 53 この学則は、2009年5月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1(第18条関係)2学科科目(9)教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)1「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(中等科)、2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科)については、2010年度入学生及び2012年度編入学生から適用する。
- 54 この学則は、2010年3月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。
- 55 この学則は、2010年7月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(中等科)については、2011年度入学生及び2013年度編入学生から適用する。
- 56 この学則は、2011年3月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。
- 57 この学則は、2011年10月12日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)5博物館学に関する専門科目及び7図書館学に関する専門科目については、2012年度入学生及び2012年度編入学生から適用する。
- 58 この学則は、2012年3月27日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。
- 59 この学則は、2013年3月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。ただし、第18条、第19条、第19条の2、並びに別表Ⅰ－1(第18条関係)及び別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)8真宗大谷派教師資格に関する科目については、2013年度入学生及び2015年度編入学生から適用する。
- 60 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2014年4月1日から施行する。ただし、第20条の4、並びに別表Ⅰ－1(第18条関係)2学科専門科目(9)教育・心理学科及び別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)3特別支援教育に関する科目については、2014年度入学生及び2016年度編入学生から適用する。
- 61 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、第18条別表Ⅰ－1 2学科専門科目については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。
- 62 この学則は、2014年5月23日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。
- 63 この学則は、2015年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1(第18条関係)2学科専門科目(1)真宗学科、(2)仏教学科、(3)哲学科、(4)社会学科、(5)歴史学科、(7)国際文化学科及び(8)人文情報学科、並びに3現代総合科目キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。
- 64 この学則は、2016年3月24日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。ただし、第20条並びに別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(中等科)及び2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科

目」(初等科)については、2016年度入学生及び2018年度編入学生から適用する。

- 65 この学則は、2017年3月22日に一部改正し、2018年4月1日から施行する。ただし、第3条、第3条の2、第3条の3、第19条から第22条まで、第28条、第57条第3項、第65条の2、第67条、別表Ⅰ－1(第18条関係)、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の2関係)2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科)、3－1保育士資格に関する科目、3－2保育心理士に関する科目及び別表Ⅱについては、2018年度入学生及び2020年度編入学生から適用する。文学部社会学科、人文情報学科及び教育・心理学科は、2018年度から学生募集を停止する。文学部社会学科、人文情報学科及び教育・心理学科は、改正後の第3条の3の規定にかかわらず、2018年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 66 この学則は、2018年3月22日に一部改正し、2018年4月1日から施行する。ただし、第18条及び第48条の2並びに別表Ⅰ－2(第20条～第22条の3関係)1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(中等科)、2－1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科 小学校教諭一種)、2－2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(初等科 幼稚園教諭一種)及び9真宗大谷派教師資格に関する科目については、2018年度入学生及び2020年度編入学生から適用する。
- 67 この学則は、2018年9月26日に一部改正し、2019年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の3関係)3－1保育士資格に関する科目、3－2保育心理士に関する科目については、2019年度入学生及び2021年度編入学生から適用する。
- 68 この学則は、2018年12月20日に一部改正し、2020年4月1日から施行する。
- 69 この学則は、2019年3月25日に一部改正し、2019年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1(第18条関係)教育学部開設科目2学科専門科目(1)教育学科 初等教育コース、(2)教育学科 幼児教育コース、全学部共通開設科目1教職課程(中・高)、3保育士養成課程、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の3関係)1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」(中等科)、2－1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」(初等科 小学校教諭一種)、2－2「施行規則第66条の6に定める科目」「領域及び領域の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」(初等科 幼稚園教諭一種)、3－1保育士資格に関する科目、3－2保育心理士に関する科目、9真宗大谷派教師資格に関する科目については、2019年度入学生及び編入学生から適用する。
- 70 この学則は、2020年3月24日に一部改正し、2020年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅱ(第35条・第55条・第56条・第56条の2・第56条の3・第57条・第66条関係)については、2021年度入学生から適用する。
- 71 この学則は、2020年3月24日に一部改正し、2021年4月1日から施行する。ただし、第3条、第3条の2、第3条の3、第19条、第20条、別表Ⅰ－1(第18条関係)、別表Ⅰ－2(第20条～第22条の3関係)1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」(中等科)及び別表Ⅱ(第35条・第55条・第56条・第56

条の2・第56条の3・第57条・第66条関係)については、2021年度入学生及び2023年度編入学生から適用する。文学部国際文化学科は、2021年度から学生募集を停止する。文学部国際文化学科は、改正後の第3条の3の規定にかかわらず、2021年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

72 この学則は、2021年3月24日に一部改正し、2021年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）社会学部開設科目2学科専門科目（2）コミュニティデザイン学科、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の3関係）7社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目については、2021年度入学生及び2023年度編入学生から適用する。

73 この学則は、2022年3月22日に一部改正し、2022年4月1日から施行する。ただし、第19条第1項、別表Ⅰ－1（第18条関係）、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の3関係）1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（中等科）、2－1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 小学校教諭一種）、2－2「施行規則第66条の6に定める科目」「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 幼稚園教諭一種）、3－1保育士資格に関する科目並びに3－2保育心理士に関する科目については、2022年度入学生及び2024年度編入学生から適用する。

74 この学則は、2023年3月24日に一部改正し、2023年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）教育学部開設科目2学科専門科目（1）教育学科 初等教育コースに関する科目については、2023年度入学生及び2025年度編入学生から適用する。

75 この学則は、2023年10月20日に一部改正し、2024年4月1日から施行する。

76 この学則は、2024年3月25日に一部改正し、2024年4月1日から施行する。

77 この学則は、2024年3月25日に一部改正し、2025年4月1日から施行する。ただし、第20条、別表Ⅰ－1（第18条関係）、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の3関係）1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（中等科）、2－1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 小学校教諭一種）、2－2「施行規則第66条の6に定める科目」「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 幼稚園教諭一種）、3－1保育士資格に関する科目については、2025年度入学生及び2027年度編入学生から適用する。

78 この学則は、2025年3月25日に一部改正し、2025年4月1日から施行する。ただし、第19条第1項及び第2項、別表Ⅰ－1（第18条関係）、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の3関係）2－1「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 小学校教諭一種）については、2025

年度入学生及び2027年度編入学生から適用する。

別表Ⅰ－１（第18条関係）

文学部開設科目

1 共通基礎科目

（1）総合科目

区 分	科 目 名	単位	備 考
総合科目	人 間 学 I a	2	
〃	人 間 学 I b	2	
〃	人 間 学 I	2	
〃	人 間 学 II － 1	2	
〃	人 間 学 II － 2	2	
〃	人 間 学 II － 3	2	
〃	人 間 学 II － 4	2	
〃	人 間 学 II － 5	2	
〃	人 間 学 II － 6	2	
〃	人 間 学 II － 7	2	
〃	人 間 学 II － 8	2	
〃	人 間 学 II － 9	2	
〃	人 間 学 II － 1 0	2	
〃	人 間 学 II － 1 1	2	
〃	人 間 学 II － 1 2	2	
〃	人 間 学 II － 1 3	2	
〃	人 間 学 II － 1 4	2	
〃	人 間 学 II － 1 5	2	
〃	人 間 学 II － 1 6	2	
〃	人 間 学 II － 1 7	2	
〃	人 間 学 II － 1 8	2	
〃	人 間 学 II － 1 9	2	
〃	人 間 学 II － 2 0	2	

（2）大学導入

区 分	科 目 名	単位	備 考
大学導入	学 び の 発 見	2	
〃	I C T 入 門	2	

（3）必修外国語

区 分	科 目 名	単位	備 考
英語Ⅰ	英 語 I a	1	総合
〃	英 語 I b	1	総合
〃	英 語 I a	1	読解

〃	英 語 I b	1	読解
〃	英 語 I	1	
初修外国語 I	ド イ ツ 語 I a	2	
〃	ド イ ツ 語 I b	2	
〃	ド イ ツ 語 I	1	
〃	フ ラ ン ス 語 I a	2	
〃	フ ラ ン ス 語 I b	2	
〃	フ ラ ン ス 語 I	1	
〃	中 国 語 I a	2	
〃	中 国 語 I b	2	
〃	中 国 語 I	1	
〃	韓国・朝鮮語 I a	2	
〃	韓国・朝鮮語 I b	2	
〃	韓国・朝鮮語 I	1	
〃	日 本 語 I a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 I b	2	
〃	日 本 語 I	1	
英語Ⅱ	英 語 II a	1	listening reading writing
〃	英 語 II b	1	listening reading writing
〃	英 語 II a	1	speaking writing
〃	英 語 II b	1	speaking writing
〃	英 語 II	1	
初修外国語Ⅱ	ド イ ツ 語 II a	2	
〃	ド イ ツ 語 II b	2	
〃	ド イ ツ 語 II	1	
〃	フ ラ ン ス 語 II a	2	
〃	フ ラ ン ス 語 II b	2	
〃	フ ラ ン ス 語 II	1	
〃	中 国 語 II a	2	
〃	中 国 語 II b	2	
〃	中 国 語 II	1	
〃	韓国・朝鮮語 II a	2	
〃	韓国・朝鮮語 II b	2	
〃	韓国・朝鮮語 II	1	
〃	日 本 語 II a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 II b	2	
〃	日 本 語 II	1	

(4) 選択外国語

科 目 名	単 位	備 考
-------	-----	-----

英語読解（中級） 1	1	
英語読解（中級） 2	1	
英語読解（中級） 3	1	
英語読解（中級） 4	1	
英作文（中級） 1	1	
英作文（中級） 2	1	
英文法（中級） 1	1	
英文法（中級） 2	1	
英語のしくみと表現（中級） 1	1	
英語のしくみと表現（中級） 2	1	
英語会話（中級） 1	1	
英語会話（中級） 2	1	
英語会話（中級） 3	1	
英語会話（中級） 4	1	
英語会話（中級） 5	1	
英語会話（中級） 6	1	
英語読解（上級） 1	1	
英語読解（上級） 2	1	
英語読解（上級） 3	1	
英語読解（上級） 4	1	
英語会話（上級） 1	1	
英語会話（上級） 2	1	
英語会話（上級） 3	1	
英語会話（上級） 4	1	
英作文（上級） 1	1	
英作文（上級） 2	1	
英文法（上級） 1	1	
英文法（上級） 2	1	
インテンシブ英会話（中級） 1	4	
インテンシブ英会話（中級） 2	4	
実践英語・文化研究	4	
ドイツ語読解（初級） 1	1	
ドイツ語読解（初級） 2	1	
ドイツ語会話（初級） 1	1	
ドイツ語会話（初級） 2	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 1	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 2	1	
ドイツ語読解（中級） 1	1	
ドイツ語読解（中級） 2	1	
フランス語読解（初級）	1	
フランス語会話（初級）	1	
フランス語読解（中級）	1	

フランス語会話（中級）	1	
フランス語のしくみと表現（初級）	2	
フランス語のしくみと表現（中級）	1	
中国語読解（初級） 1	1	
中国語読解（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 1	1	
中国語会話（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 3	1	
中国語会話（初級） 4	1	
中国語のしくみと表現（初級） 1	1	
中国語のしくみと表現（初級） 2	1	
中国語会話（中級） 1	1	
中国語会話（中級） 2	1	
中国語会話（上級） 1	1	
中国語会話（上級） 2	1	
実践中国語・文化研究 1	2	
実践中国語・文化研究 2	4	
韓国・朝鮮語会話（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	1	
実践韓国・朝鮮語・文化研究	4	
現代チベット語 a	1	
現代チベット語 b	1	
ラテン語入門 1	1	
ラテン語入門 2	1	
ヒンディー語 a	1	
ヒンディー語 b	1	

2 学科専門科目

(1) 真宗学科

科目名	単位	備考
真宗学演習Ⅰ a	2	
真宗学演習Ⅰ b	2	
真宗学演習Ⅱ a	2	
真宗学演習Ⅱ b	2	
真宗学演習Ⅲ a	2	
真宗学演習Ⅲ b	2	
真宗学演習Ⅳ a	2	

真 宗 学 演 習 IV b	2	
真 宗 学 概 論 1	2	
真 宗 学 概 論 2	2	
真 宗 学 概 論 3	2	
真 宗 学 概 論 4	2	
大 乘 仏 教 入 門	2	
親 鸞 の 生 涯 と 思 想	2	
親 鸞 思 想 の 受 容 と 展 開	2	
法 然 の 生 涯 と 思 想	2	
『 教 行 信 証 』 論	2	
『 歎 異 抄 』 論	2	
真 宗 と 諸 宗 教	2	
イ ン ド 仏 教 思 想 論 1	2	
イ ン ド 仏 教 思 想 論 2	2	
中 国 仏 教 思 想 論 1	2	
中 国 仏 教 思 想 論 2	2	
日 本 仏 教 思 想 論 1	2	
日 本 仏 教 思 想 論 2	2	
現 代 と 真 宗	2	
真 宗 学 特 殊 講 義 1	2	
真 宗 学 特 殊 講 義 2	2	
真 宗 学 特 殊 講 義 3	2	
真 宗 学 特 殊 講 義 4	2	
浄 土 教 史 概 説	2	
真 宗 教 団 史	2	
近 代 教 学 史	2	
真 宗 典 籍 研 究	2	
宗 教 学 概 説	2	
宗 教 史 概 論 1	2	
宗 教 史 概 論 2	2	
仏 教 文 献 基 礎 演 習 a	2	
仏 教 文 献 基 礎 演 習 b	2	
教行信証＜総序・教巻＞を読む	2	
教行信証＜行巻＞を読む	2	
教行信証＜信巻＞を読む	2	
教行信証＜証巻＞を読む	2	
教行信証＜真仏土巻＞を読む	2	
教行信証＜化身土巻＞を読む	2	
浄 土 経 典 を 読 む 1	2	
浄 土 経 典 を 読 む 2	2	
浄 土 経 典 を 読 む 3	2	
維 摩 経 を 読 む	2	

法華經を読む	2	
浄土論註を読む	2	
観経疏を読む	2	
選択集を読む	2	
正信偈を読む	2	
欧文仏典を読む 1	2	
欧文仏典を読む 2	2	
真宗学特殊演習 1	2	
真宗学特殊演習 2	2	
真宗学特殊演習 3	2	
真宗学特殊演習 4	2	
真宗学特殊演習 5	2	
真宗学特殊演習 6	2	
フィールドワーク1 (思想探究)	2	
フィールドワーク2 (現代臨床)	2	
フィールドワーク3 (国際)	2	
卒業研究	8	

(2) 仏教学科

科目名	単位	備考
仏教学演習 I a	2	
仏教学演習 I b	2	
仏教学演習 II a	2	
仏教学演習 II b	2	
仏教学演習 III a	2	
仏教学演習 III b	2	
仏教学演習 IV a	2	
仏教学演習 IV b	2	
仏教学概論 1	2	
仏教学概論 2	2	
仏教学概論 3	2	
仏教学概論 4	2	
大乘仏教入門	2	
インド仏教思想論 1	2	
インド仏教思想論 2	2	
中国仏教思想論 1	2	
中国仏教思想論 2	2	
日本仏教思想論 1	2	
日本仏教思想論 2	2	
中国仏教史	2	
日本仏教史	2	

浄土教史概説	2	
宗教史 1	2	
宗教史 2	2	
インド学	2	
現代仏教論	2	
現代と真宗	2	
死生学	2	
生命倫理	2	
人間関係学	2	
地域仏教論	2	
仏教学特殊講義 1	2	
仏教学特殊講義 2	2	
仏教学特殊講義 3	2	
仏教学特殊講義 4	2	
仏教文献基礎演習 a	2	
仏教文献基礎演習 b	2	
現代仏教演習	2	
地域仏教演習	2	
初期仏典を読む	2	
浄土経典を読む 1	2	
浄土経典を読む 2	2	
浄土経典を読む 3	2	
維摩経を読む	2	
法華経を読む	2	
欧文仏典を読む 1	2	
欧文仏典を読む 2	2	
仏教学特殊演習 1	2	
仏教学特殊演習 2	2	
仏教学特殊演習 3	2	
仏教学特殊演習 4	2	
仏教学特殊演習 5	2	
仏教学特殊演習 6	2	
臨床フィールドワーク	2	
パーリ語 a	1	
パーリ語 b	1	
サンスクリット語 a	1	
サンスクリット語 b	1	
古典チベット語 a	1	
古典チベット語 b	1	
卒業研究	8	

(3) 哲学科

科目名	単位	備考
哲学科演習Ⅰ a	2	
哲学科演習Ⅰ b	2	
哲学科演習Ⅱ a	2	
哲学科演習Ⅱ b	2	
哲学科演習Ⅲ a	2	
哲学科演習Ⅲ b	2	
哲学科演習Ⅳ a	2	
哲学科演習Ⅳ b	2	
哲学概論 1	2	
哲学概論 2	2	
倫理学概論 1	2	
倫理学概論 2	2	
宗教学概論 1	2	
宗教学概論 2	2	
西洋哲学史（古代） 1	2	
西洋哲学史（古代） 2	2	
西洋哲学史（中世） 1	2	
西洋哲学史（中世） 2	2	
西洋哲学史（近世） 1	2	
西洋哲学史（近世） 2	2	
日本哲学	2	
心理学入門	2	
人間関係学	2	
公共哲学	2	
死生学	2	
生命倫理	2	
宗教史 1	2	
宗教史 2	2	
キリスト教 1	2	
キリスト教 2	2	
哲学科特殊講義 1	2	
哲学科特殊講義 2	2	
哲学科特殊講義 3	2	
哲学科特殊講義 4	2	
哲学科特殊講義 5	2	
哲学科特殊講義 6	2	
哲学科特殊講義 7	2	
哲学科特殊講義 8	2	
人文地理学 1	2	

人 文 地 理 学	2	2	
人 文 地 理 学	3	2	
人 文 地 理 学	4	2	
世 界 地 誌 学	1	2	
世 界 地 誌 学	2	2	
世 界 地 誌 学	3	2	
世 界 地 誌 学	4	2	
法 学 概 論	1	2	
法 学 概 論	2	2	
政 治 学 概 論	1	2	
政 治 学 概 論	2	2	
国 際 関 係 論	1	2	
国 際 関 係 論	2	2	
国 際 政 治 学	1	2	
国 際 政 治 学	2	2	
批 判 的 思 考	1	2	
批 判 的 思 考	2	2	
古 典 ギ リ シ ャ 語 入 門	1	1	
古 典 ギ リ シ ャ 語 入 門	2	1	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む	1	2	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む	2	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む	1	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む	2	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む	1	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む	2	2	
フ ラ ン ス 哲 学 文 献 を 読 む	1	2	
フ ラ ン ス 哲 学 文 献 を 読 む	2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	4	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	5	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	6	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	7	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	8	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	9	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1 0	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1 1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1 3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習	1 4	2	
卒 業 研 究	8		

(4) 歴史学科

科 目 名	単位	備 考
歴 史 学 演 習 I a	2	
歴 史 学 演 習 I b	2	
歴 史 学 演 習 II a	2	
歴 史 学 演 習 II b	2	
歴 史 学 演 習 III a	2	
歴 史 学 演 習 III b	2	
歴 史 学 演 習 IV a	2	
歴 史 学 演 習 IV b	2	
史 学 概 論 1	2	
史 学 概 論 2	2	
日 本 史 学 概 論 1	2	
日 本 史 学 概 論 2	2	
東 洋 史 学 概 論 1	2	
東 洋 史 学 概 論 2	2	
西 洋 史 学 概 論 1	2	
西 洋 史 学 概 論 2	2	
日 本 古 代 史 講 義 1	2	
日 本 古 代 史 講 義 2	2	
日 本 中 世 史 講 義 1	2	
日 本 中 世 史 講 義 2	2	
日 本 近 世 史 講 義 1	2	
日 本 近 世 史 講 義 2	2	
日 本 近 現 代 史 講 義 1	2	
日 本 近 現 代 史 講 義 2	2	
中 国 古 代 史 講 義 1	2	
中 国 古 代 史 講 義 2	2	
中 国 中 世 史 講 義 1	2	
中 国 中 世 史 講 義 2	2	
中 国 近 世・近 代 史 講 義 1	2	
中 国 近 世・近 代 史 講 義 2	2	
西 洋 史 講 義 1	2	
西 洋 史 講 義 2	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 1	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 2	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 3	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 4	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 5	2	
歴 史 学 特 殊 講 義 6	2	
京 都 探 究 講 義 1	2	

京 都 探 究 講 義 2	2	
日 本 民 俗 学	2	
中 国 仏 教 史	2	
日 本 仏 教 史	2	
真 宗 史	2	
文 化 交 流 史	2	
京 都 の 歴 史 と 文 化	2	
歴 史 地 理 学 1	2	
歴 史 地 理 学 2	2	
考 古 学 1	2	
考 古 学 2	2	
美 術 史 1	2	
美 術 史 2	2	
古 文 書 学 概 論 1	2	
古 文 書 学 概 論 2	2	
建 築 史 1	2	
建 築 史 2	2	
博 物 館 概 論	2	
博 物 館 資 料 論	2	
文 化 財 概 論	2	
文 化 財 保 存 科 学 論	2	
博 物 館 教 育 論	2	
人 文 地 理 学 1	2	
人 文 地 理 学 2	2	
人 文 地 理 学 3	2	
人 文 地 理 学 4	2	
世 界 地 誌 学 1	2	
世 界 地 誌 学 2	2	
世 界 地 誌 学 3	2	
世 界 地 誌 学 4	2	
自 然 地 理 学 1	2	
自 然 地 理 学 2	2	
経 済 学 概 論 1	2	
経 済 学 概 論 2	2	
国 際 経 済 学 1	2	
国 際 経 済 学 2	2	
社 会 学 総 論 1	2	
社 会 学 総 論 2	2	
歴 史 学 基 礎 演 習 a	2	
歴 史 学 基 礎 演 習 b	2	
日 本 古 代 史 料 を 読 む 1	2	

日本古代史料を読む 2	2	
日本中世史料を読む 1	2	
日本中世史料を読む 2	2	
日本近世史料を読む 1	2	
日本近世史料を読む 2	2	
日本近現代史料を読む 1	2	
日本近現代史料を読む 2	2	
中国古代・中世史料を読む 1	2	
中国古代・中世史料を読む 2	2	
中国近世・近代史料を読む 1	2	
中国近世・近代史料を読む 2	2	
交流史料を読む 1	2	
交流史料を読む 2	2	
交流史料を読む 3	2	
交流史料を読む 4	2	
西洋史文献を読む 1	2	
西洋史文献を読む 2	2	
京都探究調査演習 1	2	
京都探究調査演習 2	2	
歴史学特殊演習 1	2	
歴史学特殊演習 2	2	
歴史学特殊演習 3	2	
歴史学特殊演習 4	2	
古文書演習 1	2	
古文書演習 2	2	
文化財調査演習 1	2	
文化財調査演習 2	2	
文化財調査演習 3	2	
文化財調査演習 4	2	
古文書解読法 1	4	
古文書解読法 2	4	
漢文訓読法 1	2	
漢文訓読法 2	2	
博物館展示論	2	
展示実習	2	
卒業研究	8	

(5) 文学科

科目名	単位	備考
文学科演習 I a	2	
文学科演習 I b	2	
文学科演習 II a	2	

文 学 科 演 習 II	b	2	
文 学 科 演 習 III	a	2	
文 学 科 演 習 III	b	2	
文 学 科 演 習 IV	a	2	
文 学 科 演 習 IV	b	2	
国 文 学 概 論	1	2	
国 文 学 概 論	2	2	
国 語 学 概 論	1	2	
国 語 学 概 論	2	2	
中 国 文 学 概 論	1	2	
中 国 文 学 概 論	2	2	
現 代 文 芸 概 論	1	2	
現 代 文 芸 概 論	2	2	
日 本 文 学 史	1	2	
日 本 文 学 史	2	2	
国 文 法 講 義	1	2	
国 文 法 講 義	2	2	
中 国 語 学 講 義	1	2	
中 国 語 学 講 義	2	2	
文 藝 塾 講 義	1	2	
文 藝 塾 講 義	2	2	
書	道	2	
古 典 文 学	1	2	
古 典 文 学	2	2	
古 典 文 学	3	2	
古 典 文 学	4	2	
近 現 代 文 学	1	2	
近 現 代 文 学	2	2	
文 章 表 現 学	1	2	
文 章 表 現 学	2	2	
中 国 文 学 史	1	2	
中 国 文 学 史	2	2	
中 国 思 想 史	1	2	
中 国 思 想 史	2	2	
中 国 文 献 学	1	2	
中 国 文 献 学	2	2	
アメリカ文学講義	1	2	
アメリカ文学講義	2	2	
イギリス文学講義	1	2	
イギリス文学講義	2	2	
ドイツ近現代文学	1	2	
ドイツ近現代文学	2	2	
仏教文学特殊講義	1	2	
仏教文学特殊講義	2	2	
中国文学特殊講義	1	2	
中国文学特殊講義	2	2	
文 学 鑑 賞	1	2	
文 学 鑑 賞	2	2	

漢文訓読演習 1	2	
漢文訓読演習 2	2	
文藝塾実践演習 I a	2	
文藝塾実践演習 I b	2	
古典文学講読 1	2	
古典文学講読 2	2	
古典文学講読 3	2	
古典文学講読 4	2	
近現代文学講読 1	2	
近現代文学講読 2	2	
近現代文学講読 3	2	
近現代文学講読 4	2	
中国文学講読 1	2	
中国文学講読 2	2	
言語技術演習	2	
文学教材講読	2	
文藝塾実践演習 II a	2	
文藝塾実践演習 II b	2	
仏教文学特殊演習 1	2	
仏教文学特殊演習 2	2	
中国文学特殊演習 1	2	
中国文学特殊演習 2	2	
卒業研究	8	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科目名	単位	備考
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 1 大学コンソ京都	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 2 大谷大学	2	
探究基礎演習	2	
フィールドワーク特殊演習(PBL)	2	
思考法入門	2	
大学での学びを知る	2	
日本国憲法 1	2	
日本国憲法 2	2	
日本国憲法 3	2	
青年と社会教育	2	
社会福祉と社会教育	2	

ポルトガル語圏のくらしと言葉1	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉2	2	
デジタル人文学概論	2	
情報メディアと社会	2	
人文学とコンピュータ	2	
デジタル時代の知的財産権	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
PC利用による表計算入門	2	
PC利用による表計算応用	2	
PC利用によるプレゼンテーション	2	
PC利用によるレポート・論文技法	2	
データサイエンス入門	2	
データサイエンス基礎	2	
画像処理入門	2	
画像処理応用	2	
PCミュージック入門	2	
PCミュージック応用	2	
Webサイト構築入門	2	
Webサイト構築応用	2	
人文学データベース入門	2	
日本語表現（入門）1	2	
日本語表現（入門）2	2	
日本語表現（実践）	2	
発想から表現へ	2	

自然生命系

科目名	単位	備考
自然と生物の科学	2	
地震と火山 1	2	
地震と火山 2	2	
地球科学 1	2	
地球科学 2	2	
惑星科学	2	
地球環境と生命の共進化	2	
生命のしくみと多様性	2	
化石の科学	2	
星の世界	2	
こころの科学	2	
人間理解の心理学	2	

人間関係の心理学 1	2	
人間関係の心理学 2	2	
コミュニケーションの心理学	2	
健康心理学	2	
心理療法概論	2	
心理療法と教育	2	
行動の科学 1	2	
行動の科学 2	2	
脳とこころ	2	
カウンセリング	2	
スポーツと健康の科学 1	2	
スポーツと健康の科学 2	2	
人間関係と身体表現	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
パラスポーツ論	2	
スポーツ研究演習 I	2	
スポーツ研究演習 II	2	
パラスポーツ研究演習 I	2	
パラスポーツ研究演習 II	2	
身体活動 I	1	
身体活動 II	1	
身体活動 I (パラスポーツ)	1	
身体活動 II (パラスポーツ)	1	

歴史文化系

科目名	単位	備考
ドイツの歴史と文学	2	
中国の歴史と文学	2	
現代東南アジア事情	2	
漢字の世界	2	
近代日本とアジア	2	
古都の歴史と文化	2	
教育学 1	2	
教育学 2	2	
ドイツの言語文化	2	
ドイツの民衆文化	2	
フランスの言語文化	2	
フランスの民衆文化	2	
中国の言語文化	2	
中国の民衆文化	2	

ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	
ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	
ヒマラヤの祈り	2	
チベットを見た日本人たち	2	
モンゴル草原の祈り	2	
朝鮮半島の美術	2	
東南アジアの宗教文化	2	
インドの神々	2	
東アジアの宗教文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
人と宗教	2	
芸術表現	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
仏教福祉論	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	
非戦の系譜	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

4 大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目

科目名	単位	備考
検定英語 I	2	
検定英語 II	2	
検定英語 III	2	
検定英語 IV	2	
検定ドイツ語 I	2	
検定ドイツ語 II	2	
検定ドイツ語 III	2	
検定ドイツ語 IV	2	

検 定 フ ラ ン ス 語 I	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 II	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 III	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 IV	2	
検 定 中 国 語 I	2	
検 定 中 国 語 II	2	
検 定 中 国 語 III	2	
検 定 中 国 語 IV	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 I	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 II	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 III	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 IV	2	

社会学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区 分	科 目 名	単 位	備 考
総合科目	人 間 学 I a	2	
〃	人 間 学 I b	2	
〃	人 間 学 I	2	
〃	人 間 学 II - 1	2	
〃	人 間 学 II - 2	2	
〃	人 間 学 II - 3	2	
〃	人 間 学 II - 4	2	
〃	人 間 学 II - 5	2	
〃	人 間 学 II - 6	2	
〃	人 間 学 II - 7	2	
〃	人 間 学 II - 8	2	
〃	人 間 学 II - 9	2	
〃	人 間 学 II - 10	2	
〃	人 間 学 II - 11	2	
〃	人 間 学 II - 12	2	
〃	人 間 学 II - 13	2	
〃	人 間 学 II - 14	2	
〃	人 間 学 II - 15	2	
〃	人 間 学 II - 16	2	
〃	人 間 学 II - 17	2	
〃	人 間 学 II - 18	2	
〃	人 間 学 II - 19	2	
〃	人 間 学 II - 20	2	

(2) 大学導入

区 分	科 目 名	単位	備 考
大学導入	学 び の 発 見	2	
〃	I C T 入 門	2	

(3) 必修外国語

区 分	科 目 名	単位	備 考
英語 I	英 語 I a	1	総合
〃	英 語 I b	1	総合
〃	英 語 I a	1	読解
〃	英 語 I b	1	読解
〃	英 語 I	1	
初修外国語 I	日 本 語 I a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 I b	2	
〃	日 本 語 I	1	
英語 II	英 語 II a	1	listening reading writing
〃	英 語 II b	1	listening reading writing
〃	英 語 II a	1	speaking writing
〃	英 語 II b	1	speaking writing
〃	英 語 II	1	
初修外国語 II	日 本 語 II a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 II b	2	
〃	日 本 語 II	1	

(4) 選択外国語

科 目 名	単位	備 考
英 語 読 解 (中 級) 1	1	
英 語 読 解 (中 級) 2	1	
英 語 読 解 (中 級) 3	1	
英 語 読 解 (中 級) 4	1	
英 作 文 (中 級) 1	1	
英 作 文 (中 級) 2	1	
英 文 法 (中 級) 1	1	
英 文 法 (中 級) 2	1	
英語のしくみと表現 (中級) 1	1	
英語のしくみと表現 (中級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 1	1	
英 語 会 話 (中 級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 3	1	
英 語 会 話 (中 級) 4	1	

英語会話（中級） 5	1	
英語会話（中級） 6	1	
英語読解（上級） 1	1	
英語読解（上級） 2	1	
英語読解（上級） 3	1	
英語読解（上級） 4	1	
英語会話（上級） 1	1	
英語会話（上級） 2	1	
英語会話（上級） 3	1	
英語会話（上級） 4	1	
英作文（上級） 1	1	
英作文（上級） 2	1	
英文法（上級） 1	1	
英文法（上級） 2	1	
インテンシブ英会話（中級） 1	4	
インテンシブ英会話（中級） 2	4	
実践英語・文化研究	4	
ドイツ語読解（初級） 1	1	
ドイツ語読解（初級） 2	1	
ドイツ語会話（初級） 1	1	
ドイツ語会話（初級） 2	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 1	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 2	1	
ドイツ語読解（中級） 1	1	
ドイツ語読解（中級） 2	1	
フランス語読解（初級）	1	
フランス語会話（初級）	1	
フランス語読解（中級）	1	
フランス語会話（中級）	1	
フランス語のしくみと表現（初級）	2	
フランス語のしくみと表現（中級）	1	
中国語読解（初級） 1	1	
中国語読解（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 1	1	
中国語会話（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 3	1	
中国語会話（初級） 4	1	
中国語のしくみと表現（初級） 1	1	
中国語のしくみと表現（初級） 2	1	
中国語会話（中級） 1	1	
中国語会話（中級） 2	1	
中国語会話（上級） 1	1	

中国語会話（上級） 2	1	
実践中国語・文化研究 1	2	
実践中国語・文化研究 2	4	
韓国・朝鮮語会話（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	1	
実践韓国・朝鮮語・文化研究	4	
現代チベット語 a	1	
現代チベット語 b	1	
ラテン語入門 1	1	
ラテン語入門 2	1	
ヒンディー語 a	1	
ヒンディー語 b	1	

2 学科専門科目

(1) 現代社会学科

科目名	単位	備考
社会学演習Ⅰ a	2	
社会学演習Ⅰ b	2	
社会学演習Ⅱ a	2	
社会学演習Ⅱ b	2	
社会学演習Ⅲ a	2	
社会学演習Ⅲ b	2	
社会学演習Ⅳ a	2	
社会学演習Ⅳ b	2	
仏教社会学論	2	
社会学概論	2	
現代社会基礎	2	
社会学入門	2	
現代社会学論	2	
人間関係論	2	
心理学基礎	2	
現代家族論	2	
ジェンダーと社会	2	
比較心理学	2	
社会心理学	2	
現代社会とコミュニケーション	2	

教 育 社 会 学	2	
個 人 と 公 共	2	
社 会 問 題 論	2	
地 域 社 会 論	2	
地 域 福 祉 論 1	2	
地 域 福 祉 論 2	2	
環 境 社 会 学	2	
グ ローバリゼーション論	2	
市 民 活 動 論	2	
ボ ラン テ ィ ア 論	2	
地 方 自 治 論	2	
犯 罪 と 社 会	2	
現 代 文 化 論	2	
文 化 社 会 学	2	
観 光 社 会 学	2	
宗 教 と 社 会	2	
日 本 ポ ッ プ カ ル チ ャ ー 論	2	
ス ポ ー ツ と 社 会	2	
消 費 社 会 論	2	
文 化 人 類 学	2	
ア ジ ア 社 会 論	2	
情 報 と 倫 理	2	
情 報 社 会 論	2	
情 報 技 術 論	2	
社 会 思 想 史	2	
社 会 学 史	2	
社 会 調 査 論	2	
社 会 動 態 論	2	
比 較 社 会 論	2	
経 済 と 社 会	2	
現 代 社 会 と ビ ジ ネ ス	2	
社 会 統 計 基 礎	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 技 法 基 礎	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 1	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 2	2	
探 究 フ ィ ー ル ド ワ ー ク 1	2	
探 究 フ ィ ー ル ド ワ ー ク 2	2	
ソ ー シ ャ ル ・ ド キ ュ メ ン ト 分 析 1	2	
ソ ー シ ャ ル ・ ド キュメント分析2	2	
社 会 統 計 演 習 1	2	

社 会 統 計 演 習 2	2	
メディア・コミュニケーション分析1	2	
メディア・コミュニケーション分析2	2	
社会学文献講読（人間関係）1	2	
社会学文献講読（人間関係）2	2	
社会学文献講読（公共社会）1	2	
社会学文献講読（公共社会）2	2	
社会学文献講読（現代文化）1	2	
社会学文献講読（現代文化）2	2	
社会学文献講読（経済）	2	
エスノグラフィ講読・作成1	2	
エスノグラフィ講読・作成2	2	
文化人類学文献講読1	2	
文化人類学文献講読2	2	
社会情報学文献講読	2	
社会心理学文献講読	2	
社会科学基礎演習1	2	
社会科学基礎演習2	2	
社会科学基礎演習3	2	
社会科学基礎演習4	2	
社会科学基礎演習5	2	
キャリア・スタディーズ	2	
卒 業 研 究	8	

(2) コミュニティデザイン学科 地域政策学コース、情報メディアコース

科 目 名	単 位	備 考
コミュニティデザイン演習Ⅰa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅰb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅱa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅱb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅲa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅲb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅳa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅳb	2	
仏 教 社 会 論	2	
コミュニティデザイン概論	2	
地 域 政 策 概 論 1	2	
地 域 政 策 概 論 2	2	
情 報 メ デ ィ ア 概 論 1	2	
情 報 メ デ ィ ア 概 論 2	2	
現 代 社 会 と 福 祉 1	2	
現 代 社 会 と 福 祉 2	2	
社 会 学 概 論	2	

ボランティア論	2	
生活問題論	2	
社会政策論	2	
メディアと市民社会	2	
市民活動論	2	
社会調査論	2	
宗教と社会	2	
情報と倫理	2	
情報社会論	2	
地域と経済	2	
非営利組織マネジメント論	2	
コミュニティ形成論	2	
ソーシャルビジネス論	2	
地域と環境	2	
犯罪と社会	2	
地方自治論	2	
社会問題論	2	
情報技術論	2	
コミュニティプランニング論	2	
情報マーケティング論	2	
社会福祉発達史	2	
災害と防災	2	
ターミナルケア論	2	
メディア社会学	2	
高齢者福祉	2	
障害者福祉	2	
児童福祉	2	
社会保障論 1	2	
社会保障論 2	2	
地域福祉論 1	2	
地域福祉論 2	2	
心理学	2	
社会学	2	
公的扶助論	2	
相談援助の基盤と専門職 1	2	
相談援助の基盤と専門職 2	2	
プロジェクト研究入門Ⅰ	2	
プロジェクト研究入門Ⅱ	2	
プロジェクト研究実践Ⅰ	4	
プロジェクト研究実践Ⅱ	4	

プロジェクト研究実践Ⅲ	4	
プロジェクト研究実践Ⅳ	4	
情報技術基礎演習	2	
卒業研究	8	

(3) コミュニティデザイン学科 社会福祉学コース

科目名	単位	備考
コミュニティデザイン演習Ⅰa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅰb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅱa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅱb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅲa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅲb	2	
コミュニティデザイン演習Ⅳa	2	
コミュニティデザイン演習Ⅳb	2	
仏教社会論	2	
コミュニティデザイン概論	2	
地域政策概論 1	2	
地域政策概論 2	2	
情報メディア概論 1	2	
情報メディア概論 2	2	
現代社会と福祉 1	2	
現代社会と福祉 2	2	
社会学概論	2	
ボランティア論	2	
生活問題論	2	
社会政策論	2	
メディアと市民社会	2	
市民活動論	2	
社会調査論	2	
宗教と社会	2	
情報と倫理	2	
情報社会論	2	
地域と経済	2	
非営利組織マネジメント論	2	
コミュニティ形成論	2	
ソーシャルビジネス論	2	
地域と環境	2	
犯罪と社会	2	
地方自治論	2	
社会問題論	2	
情報技術論	2	
コミュニティプランニング論	2	

情報マーケティング論	2	
社会福祉発達史	2	
災害と防災	2	
ターミナルケア論	2	
メディア社会学	2	
高齢者福祉	2	
障害者福祉	2	
児童福祉	2	
社会保障論 1	2	
社会保障論 2	2	
地域福祉論 1	2	
地域福祉論 2	2	
心理学	2	
社会学	2	
医学一般	2	
社会福祉調査論	2	
公的扶助論	2	
司法福祉論	2	
社会福祉施設経営論	2	
保健医療サービス論	2	
権利擁護と成年後見制度	2	
相談援助の基盤と専門職 1	2	
相談援助の基盤と専門職 2	2	
相談援助の理論と方法 1	2	
相談援助の理論と方法 2	2	
相談援助の理論と方法 3	2	
相談援助の理論と方法 4	2	
プロジェクト研究入門Ⅰ	2	
プロジェクト研究入門Ⅱ	2	
社会福祉援助技術演習 1	2	
社会福祉援助技術演習 2	2	
社会福祉援助技術演習 3	2	
社会福祉援助技術演習 4	2	
社会福祉援助技術演習 5	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	2	
社会福祉援助技術現場実習	6	
社会福祉学特殊演習Ⅰ	2	
社会福祉学特殊演習Ⅱ	2	

プロジェクト研究実践Ⅰ	4	
プロジェクト研究実践Ⅱ	4	
プロジェクト研究実践Ⅲ	4	
プロジェクト研究実践Ⅳ	4	
卒業研究	8	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科目名	単位	備考
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 1 大 学 コ ン ソ 京 都	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 2 大 谷 大 学	2	
探究基礎演習	2	
フィールドワーク特殊演習(PBL)	2	
思考法入門	2	
日本国憲法 1	2	
日本国憲法 2	2	
日本国憲法 3	2	
青年と社会教育	2	
社会福祉と社会教育	2	
ポルトガル語圏の暮らしと言葉 1	2	
ポルトガル語圏の暮らしと言葉 2	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
P C 利用による表計算入門	2	
P C 利用による表計算応用	2	
P C 利用によるプレゼンテーション	2	
P C 利用によるレポート・論文技法	2	
データサイエンス入門	2	
データサイエンス基礎	2	
画像処理入門	2	
画像処理応用	2	
P C ミュージック入門	2	
P C ミュージック応用	2	

W e b サ イ ト 構 築 入 門	2	
W e b サ イ ト 構 築 応 用	2	
日 本 語 表 現 （ 入 門 ） 1	2	
日 本 語 表 現 （ 入 門 ） 2	2	
日 本 語 表 現 （ 実 践 ）	2	
発 想 か ら 表 現 へ	2	

自然生命系

科 目 名	単 位	備 考
自 然 と 生 物 の 科 学	2	
地 震 と 火 山 1	2	
地 震 と 火 山 2	2	
地 球 科 学 1	2	
地 球 科 学 2	2	
地 球 環 境 と 生 命 の 共 進 化	2	
生 命 の し く み と 多 様 性	2	
こ こ ろ の 科 学	2	
人 間 理 解 の 心 理 学	2	
心 理 療 法 概 論	2	
心 理 療 法 と 教 育	2	
脳 と こ こ ろ	2	
カ ウ ン セ リ ン グ	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 1	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 2	2	
人 間 関 係 と 身 体 表 現	2	
生 涯 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 論	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
身 体 活 動 I	1	
身 体 活 動 II	1	
身 体 活 動 I （ パ ラ ス ポ ー ツ ）	1	
身 体 活 動 II （ パ ラ ス ポ ー ツ ）	1	

歴史文化系

科 目 名	単 位	備 考
現 代 東 南 ア ジ ア 事 情	2	
近 代 日 本 と ア ジ ア	2	

古 都 の 歴 史 と 文 化	2	
教 育 学 1	2	
教 育 学 2	2	
ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	
ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	
東 南 ア ジ ア の 宗 教 文 化	2	
東 ア ジ ア の 宗 教 文 化	2	
仏 教 と 美 術	2	
イ ン ド の 宗 教 と 文 化	2	
中 国 の 宗 教 と 文 化	2	
人 と 文 化	2	
ブ ッ ダ に 学 ぶ	2	
親 鸞 に 学 ぶ	2	
仏 教 福 祉 論	2	
部 落 差 別 と 大 谷 派 教 団 1	2	
部 落 差 別 と 大 谷 派 教 団 2	2	
部 落 差 別 と 浄 土 真 宗 1	2	
部 落 差 別 と 浄 土 真 宗 2	2	
部 落 史 論 1	2	
部 落 史 論 2	2	
反 カ ー ス ト 運 動 論	2	
ア イヌ 民 族 と 共 に	2	
ア ジ ア 侵 略 と 宗 教	2	
非 戦 の 系 譜	2	
障 害 者 ・ 病 者 と 共 に 生 き る	2	

4 大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目

科 目 名	単 位	備 考
検 定 英 語 I	2	
検 定 英 語 II	2	
検 定 英 語 III	2	
検 定 英 語 IV	2	
検 定 ド イ ツ 語 I	2	
検 定 ド イ ツ 語 II	2	
検 定 ド イ ツ 語 III	2	
検 定 ド イ ツ 語 IV	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 I	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 II	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 III	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 IV	2	

検 定 中 国 語 I	2	
検 定 中 国 語 II	2	
検 定 中 国 語 III	2	
検 定 中 国 語 IV	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 I	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 II	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 III	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 IV	2	

教育学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区 分	科 目 名	単位	備 考
総合科目	人 間 学 I a	2	
〃	人 間 学 I b	2	
〃	人 間 学 I	2	
〃	人 間 学 II - 1	2	
〃	人 間 学 II - 2	2	
〃	人 間 学 II - 3	2	
〃	人 間 学 II - 4	2	
〃	人 間 学 II - 5	2	
〃	人 間 学 II - 6	2	
〃	人 間 学 II - 7	2	
〃	人 間 学 II - 8	2	
〃	人 間 学 II - 9	2	
〃	人 間 学 II - 10	2	
〃	人 間 学 II - 11	2	
〃	人 間 学 II - 12	2	
〃	人 間 学 II - 13	2	
〃	人 間 学 II - 14	2	
〃	人 間 学 II - 15	2	
〃	人 間 学 II - 16	2	
〃	人 間 学 II - 17	2	
〃	人 間 学 II - 18	2	
〃	人 間 学 II - 19	2	
〃	人 間 学 II - 20	2	

(2) 大学導入

区 分	科 目 名	単位	備 考
大学導入	学 び の 発 見	2	
〃	I C T 入 門	2	

(3) 必修外国語

区 分	科 目 名	単位	備 考
英語Ⅰ	英 語 Ⅰ a	1	総合
〃	英 語 Ⅰ b	1	総合
〃	英 語 Ⅰ a	1	読解
〃	英 語 Ⅰ b	1	読解
〃	英 語 Ⅰ	1	
初修外国語Ⅰ	日 本 語 Ⅰ a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 Ⅰ b	2	
〃	日 本 語 Ⅰ	1	
英語Ⅱ	英 語 Ⅱ a	1	listening reading writing
〃	英 語 Ⅱ b	1	listening reading writing
〃	英 語 Ⅱ a	1	speaking writing
〃	英 語 Ⅱ b	1	speaking writing
〃	英 語 Ⅱ	1	
初修外国語Ⅱ	日 本 語 Ⅱ a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 Ⅱ b	2	
〃	日 本 語 Ⅱ	1	

(4) 選択外国語

科 目 名	単位	備 考
英 語 読 解 (中 級) 1	1	
英 語 読 解 (中 級) 2	1	
英 語 読 解 (中 級) 3	1	
英 語 読 解 (中 級) 4	1	
英 作 文 (中 級) 1	1	
英 作 文 (中 級) 2	1	
英 文 法 (中 級) 1	1	
英 文 法 (中 級) 2	1	
英語のしくみと表現 (中級) 1	1	
英語のしくみと表現 (中級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 1	1	
英 語 会 話 (中 級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 3	1	
英 語 会 話 (中 級) 4	1	
英 語 会 話 (中 級) 5	1	
英 語 会 話 (中 級) 6	1	
英 語 読 解 (上 級) 1	1	
英 語 読 解 (上 級) 2	1	

英語読解（上級） 3	1	
英語読解（上級） 4	1	
英語会話（上級） 1	1	
英語会話（上級） 2	1	
英語会話（上級） 3	1	
英語会話（上級） 4	1	
英作文（上級） 1	1	
英作文（上級） 2	1	
英文法（上級） 1	1	
英文法（上級） 2	1	
インテンシブ英会話（中級） 1	4	
インテンシブ英会話（中級） 2	4	
実践英語・文化研究	4	
ドイツ語読解（初級） 1	1	
ドイツ語読解（初級） 2	1	
ドイツ語会話（初級） 1	1	
ドイツ語会話（初級） 2	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 1	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級） 2	1	
ドイツ語読解（中級） 1	1	
ドイツ語読解（中級） 2	1	
フランス語読解（初級）	1	
フランス語会話（初級）	1	
フランス語読解（中級）	1	
フランス語会話（中級）	1	
フランス語のしくみと表現（初級）	2	
フランス語のしくみと表現（中級）	1	
中国語読解（初級） 1	1	
中国語読解（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 1	1	
中国語会話（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 3	1	
中国語会話（初級） 4	1	
中国語のしくみと表現（初級） 1	1	
中国語のしくみと表現（初級） 2	1	
中国語会話（中級） 1	1	
中国語会話（中級） 2	1	
中国語会話（上級） 1	1	
中国語会話（上級） 2	1	
実践中国語・文化研究 1	2	
実践中国語・文化研究 2	4	
韓国・朝鮮語会話（初級） 1	1	

韓国・朝鮮語会話（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	1	
実践韓国・朝鮮語・文化研究	4	
現代チベット語 a	1	
現代チベット語 b	1	
ラテン語入門 1	1	
ラテン語入門 2	1	
ヒンディー語 a	1	
ヒンディー語 b	1	

2 学科専門科目

(1) 教育学科 初等教育コース

科目名	単位	備考
小学校教育学演習Ⅰ a	2	
小学校教育学演習Ⅰ b	2	
小学校教育学演習Ⅱ a	2	
小学校教育学演習Ⅱ b	2	
小学校教育学演習Ⅲ a	2	
小学校教育学演習Ⅲ b	2	
小学校教育学演習Ⅳ a	2	
小学校教育学演習Ⅳ b	2	
教育原論	2	
仏教と教育（初等）	2	
教育学概論Ⅰ	2	
教育学概論Ⅱ	2	
特別支援教育概論	2	
教育人間学Ⅰ	2	
教育人間学Ⅱ	2	
教職入門	2	
教育心理学	2	
発達心理学	2	
教育社会学	2	
教育行財政学	2	
教育課程論	2	
特別活動論	2	
教育方法論	2	
ICT活用教育の理論と方法	1	

生徒・進路指導論	2	
教育相談	2	
こども教育史Ⅰ	2	
こども教育史Ⅱ	2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ	2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅱ	2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅲ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅰ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅱ	2	
探求ゼミ（理科）Ⅲ	2	
授業心理学	2	
こどもの描画分析	2	
教室の心理学	2	
障害のある子どもたち（初等）	2	
障害児の教育（初等）	2	
特別支援教育実践論（初等）	2	
防災・安全教育（初等）	2	
生涯学習論	2	
総合的な学習の時間の指導法	2	
代数学概論 1	2	
代数学概論 2	2	
幾何学概論 1	2	
幾何学概論 2	2	
解析学概論 1	2	
解析学概論 2	2	
代数学Ⅰ	2	
代数学Ⅱ	2	
幾何学Ⅰ	2	
幾何学Ⅱ	2	
解析学Ⅰ	2	
解析学Ⅱ	2	
確率・統計学概論	2	
データの活用と分析	2	
コンピュータ概論	2	
プログラミング	2	
情報と社会	2	
実践体験活動演習（小）Ⅰ	2	
実践体験活動演習（小）Ⅱ	2	
初等科教育法（国語）	2	
初等科教育法（社会）	2	

初等科教育法（算数）	2	
初等科教育法（理科）	2	
初等科教育法（生活）	2	
初等科教育法（音楽）	2	
初等科教育法（図画工作）	2	
初等科教育法（家庭）	2	
初等科教育法（体育）	2	
初等科教育法（外国語）	2	
道徳教育の理論と方法	2	
数 学 教 育 総 論	2	
教 科 （ 国 語 ）	2	
教 科 （ 社 会 ）	2	
教 科 （ 算 数 ）	2	
教 科 （ 理 科 ）	2	
教 科 （ 生 活 ）	2	
教 科 （ 音 楽 ）	2	
教 科 （ 図 画 工 作 ）	2	
教 科 （ 家 庭 ）	2	
教 科 （ 体 育 ）	2	
教 科 （ 外 国 語 ）	2	
教育実習指導（小）	1	
教育実習（小）	4	
教職実践演習（小）	2	
音 楽 実 技 I	2	
音 楽 実 技 II	2	
運 動 会 実 践 演 習	2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ	2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ	2	
卒業研究	8	

（2）教育学科 幼児教育コース

科 目 名	単 位	備 考
幼 児 教 育 演 習 I a	2	
幼 児 教 育 演 習 I b	2	
幼 児 教 育 演 習 II a	2	
幼 児 教 育 演 習 II b	2	
幼 児 教 育 演 習 III a	2	
幼 児 教 育 演 習 III b	2	
幼 児 教 育 演 習 IV a	2	
幼 児 教 育 演 習 IV b	2	

教 育 原 論 (幼)	2	
仏教と教育 (初 等)	2	
教 育 人 間 学 I	2	
教 育 人 間 学 II	2	
発 達 心 理 学 (幼)	2	
特別支援教育概論 (幼)	2	
保 育 原 理 I	2	
教 職 入 門 (幼)	2	
教 育 学 概 論 I	2	
教 育 学 概 論 II	2	
こ だ も 教 育 史 I	2	
こ だ も 教 育 史 II	2	
保育カリキュラム論	2	
教育方法論 (幼)	4	
教育社会学 (幼)	2	
授 業 心 理 学	2	
こ だ も の 描 画 分 析	2	
教 室 の 心 理 学	2	
音 楽 理 論	2	
保 育 原 理 II	2	
児 童 家 庭 福 祉	2	
社 会 福 祉	2	
児 童 文 化	2	
社 会 的 養 護	2	
障害のある子どもたち (初等)	2	
特別支援教育実践論 (初等)	2	
防災・安全教育 (初等)	2	
生 涯 学 習 論	2	
子 だ も 家 庭 支 援 論	2	
子 だ も の 保 健	2	
乳 児 保 育 I	2	
子ども家庭支援の心理学	2	
青 年 心 理 学	2	
臨 床 心 理 学	2	
実践体験活動演習 (幼) I	2	
実践体験活動演習 (幼) II	2	
運 動 会 実 践 演 習	2	
おおたに子育て支援演習	1	
保 育 実 習 I	4	
保 育 実 習 指 導 I	2	

保 育 実 習 II	2	
保 育 実 習 指 導 II	1	
保 育 実 習 III	2	
保 育 実 習 指 導 III	1	
教 育 実 習 (幼)	4	
教 育 実 習 指 導 (幼)	1	
保 育 心 理 士 実 習	1	
保 育 心 理 士 実 習 指 導	1	
教 職 実 践 演 習 (幼)	2	
子ども理解の理論と方法 (教育相談を含む)	2	
乳 児 保 育 II	2	
社 会 的 養 護 演 習	2	
子 ど も の 健 康 と 安 全	2	
子 ど も の 食 と 栄 養	2	
保 育 内 容 総 論	2	
幼 児 と 健 康	1	
幼 児 と 人 間 関 係	1	
幼 児 と 環 境	1	
幼 児 と 言 葉	1	
幼 児 と 表 現 A	1	
幼 児 と 表 現 B	1	
保育内容 (健康) の理論と方法	2	
保育内容 (人間関係) の理論と方法	2	
保育内容 (環境) の理論と方法	2	
保育内容 (言葉) の理論と方法	2	
保育内容 (表現) の理論と方法	2	
図 画 工 作 I	2	
図 画 工 作 II	2	
幼 児 音 楽 I	2	
幼 児 音 楽 II	2	
幼 児 音 楽 III	2	
器 楽 演 習 A	2	
器 楽 演 習 B	2	
言 語 表 現	2	
野 外 活 動	2	
総 合 表 現 演 習 I	2	
総 合 表 現 演 習 II	2	
保 育 内 容 実 践 演 習 A	2	
保 育 内 容 実 践 演 習 B	2	
保 育 内 容 実 践 演 習 C	2	

障 害 児 保 育	2	
相 談 援 助	2	
卒 業 研 究	8	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科 目 名	単位	備 考
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 1 大 学 コ ン ソ 京 都	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 2 大 谷 大 学	2	
探 究 基 礎 演 習	2	
フィールドワーク特殊演習(PBL)	2	
思 考 法 入 門	2	
日 本 国 憲 法 1	2	
日 本 国 憲 法 2	2	
日 本 国 憲 法 3	2	
青 年 と 社 会 教 育	2	
社 会 福 祉 と 社 会 教 育	2	
ポルトガル語圏の暮らしと言葉 1	2	
ポルトガル語圏の暮らしと言葉 2	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
P C 利用による表計算入門	2	
P C 利用による表計算応用	2	
P C 利用によるプレゼンテーション	2	
P C 利用によるレポート・論文技法	2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 入 門	2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2	
画 像 処 理 入 門	2	
画 像 処 理 応 用	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 入 門	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 応 用	2	
W e b サ イ ト 構 築 入 門	2	
W e b サ イ ト 構 築 応 用	2	
日 本 語 表 現 (入 門) 1	2	

日 本 語 表 現 （ 入 門 ） 2	2	
日 本 語 表 現 （ 実 践 ）	2	
発 想 か ら 表 現 へ	2	

自然生命系

科 目 名	単位	備 考
自 然 と 生 物 の 科 学	2	
地 震 と 火 山 1	2	
地 震 と 火 山 2	2	
地 球 科 学 1	2	
地 球 科 学 2	2	
地 球 環 境 と 生 命 の 共 進 化	2	
生 命 の し く み と 多 様 性	2	
こ こ ろ の 科 学	2	
人 間 理 解 の 心 理 学	2	
心 理 療 法 概 論	2	
心 理 療 法 と 教 育	2	
脳 と こ こ ろ	2	
カ ウ ン セ リ ン グ	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 1	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 2	2	
人 間 関 係 と 身 体 表 現	2	
生 涯 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 論	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
身 体 活 動 I	1	
身 体 活 動 II	1	
身 体 活 動 I （ パ ラ ス ポ ー ツ ）	1	
身 体 活 動 II （ パ ラ ス ポ ー ツ ）	1	

歴史文化系

科 目 名	単位	備 考
現 代 東 南 ア ジ ア 事 情	2	
近 代 日 本 と ア ジ ア	2	
古 都 の 歴 史 と 文 化	2	
教 育 学 1	2	
教 育 学 2	2	

ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	
ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	
東南アジアの宗教文化	2	
東アジアの宗教文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
仏教福祉論	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	
非戦の系譜	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

4 大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目

科目名	単位	備考
検定英語 I	2	
検定英語 II	2	
検定英語 III	2	
検定英語 IV	2	
検定ドイツ語 I	2	
検定ドイツ語 II	2	
検定ドイツ語 III	2	
検定ドイツ語 IV	2	
検定フランス語 I	2	
検定フランス語 II	2	
検定フランス語 III	2	
検定フランス語 IV	2	
検定中国語 I	2	
検定中国語 II	2	
検定中国語 III	2	

検 定 中 国 語 IV	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 I	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 II	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 III	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 IV	2	

国際学部開設科目

1 共通基礎科目

(1) 総合科目

区 分	科 目 名	単 位	備 考
総合科目	人 間 学 I a	2	
〃	人 間 学 I b	2	
〃	人 間 学 I	2	
〃	人 間 学 II - 1	2	
〃	人 間 学 II - 2	2	
〃	人 間 学 II - 3	2	
〃	人 間 学 II - 4	2	
〃	人 間 学 II - 5	2	
〃	人 間 学 II - 6	2	
〃	人 間 学 II - 7	2	
〃	人 間 学 II - 8	2	
〃	人 間 学 II - 9	2	
〃	人 間 学 II - 10	2	
〃	人 間 学 II - 11	2	
〃	人 間 学 II - 12	2	
〃	人 間 学 II - 13	2	
〃	人 間 学 II - 14	2	
〃	人 間 学 II - 15	2	
〃	人 間 学 II - 16	2	
〃	人 間 学 II - 17	2	
〃	人 間 学 II - 18	2	
〃	人 間 学 II - 19	2	
〃	人 間 学 II - 20	2	

(2) 大学導入

区 分	科 目 名	単 位	備 考
大学導入	学 び の 発 見	2	
〃	I C T 入 門	2	

(3) 必修外国語

区 分	科 目 名	単 位	備 考
-----	-------	-----	-----

英語Ⅰ	英 語 Ⅰ a	1	総合
〃	英 語 Ⅰ b	1	総合
〃	英 語 Ⅰ a	1	読解
〃	英 語 Ⅰ b	1	読解
〃	英 語 Ⅰ	1	
初修外国語Ⅰ	ド イ ツ 語 Ⅰ a	2	
〃	ド イ ツ 語 Ⅰ b	2	
〃	ド イ ツ 語 Ⅰ	1	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅰ a	2	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅰ b	2	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅰ	1	
〃	中 国 語 Ⅰ a	2	
〃	中 国 語 Ⅰ b	2	
〃	中 国 語 Ⅰ	1	
〃	韓国・朝鮮語Ⅰ a	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅰ b	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
〃	日 本 語 Ⅰ a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 Ⅰ b	2	
〃	日 本 語 Ⅰ	1	
英語Ⅱ	英 語 Ⅱ a	1	listening reading writing
〃	英 語 Ⅱ b	1	listening reading writing
〃	英 語 Ⅱ a	1	speaking writing
〃	英 語 Ⅱ b	1	speaking writing
〃	英 語 Ⅱ	1	
初修外国語Ⅱ	ド イ ツ 語 Ⅱ a	2	
〃	ド イ ツ 語 Ⅱ b	2	
〃	ド イ ツ 語 Ⅱ	1	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅱ a	2	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅱ b	2	
〃	フ ラ ン ス 語 Ⅱ	1	
〃	中 国 語 Ⅱ a	2	
〃	中 国 語 Ⅱ b	2	
〃	中 国 語 Ⅱ	1	
〃	韓国・朝鮮語Ⅱ a	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅱ b	2	
〃	韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
〃	日 本 語 Ⅱ a	2	外国人留 学生に限 る
〃	日 本 語 Ⅱ b	2	
〃	日 本 語 Ⅱ	1	

(4) 選択外国語

科 目 名	単位	備 考
英 語 読 解 (中 級) 1	1	
英 語 読 解 (中 級) 2	1	
英 語 読 解 (中 級) 3	1	
英 語 読 解 (中 級) 4	1	
英 作 文 (中 級) 1	1	
英 作 文 (中 級) 2	1	
英 文 法 (中 級) 1	1	
英 文 法 (中 級) 2	1	
英語のしくみと表現 (中級) 1	1	
英語のしくみと表現 (中級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 1	1	
英 語 会 話 (中 級) 2	1	
英 語 会 話 (中 級) 3	1	
英 語 会 話 (中 級) 4	1	
英 語 会 話 (中 級) 5	1	
英 語 会 話 (中 級) 6	1	
英 語 読 解 (上 級) 1	1	
英 語 読 解 (上 級) 2	1	
英 語 読 解 (上 級) 3	1	
英 語 読 解 (上 級) 4	1	
英 語 会 話 (上 級) 1	1	
英 語 会 話 (上 級) 2	1	
英 語 会 話 (上 級) 3	1	
英 語 会 話 (上 級) 4	1	
英 作 文 (上 級) 1	1	
英 作 文 (上 級) 2	1	
英 文 法 (上 級) 1	1	
英 文 法 (上 級) 2	1	
インテンシブ英会話 (中級) 1	4	
インテンシブ英会話 (中級) 2	4	
ドイツ語読解 (初級) 1	1	
ドイツ語読解 (初級) 2	1	
ドイツ語会話 (初級) 1	1	
ドイツ語会話 (初級) 2	1	
ドイツ語のしくみと表現 (初級) 1	1	
ドイツ語のしくみと表現 (初級) 2	1	
ドイツ語読解 (中級) 1	1	
ドイツ語読解 (中級) 2	1	
フランス語読解 (初級)	1	

フランス語会話（初級）	1	
フランス語読解（中級）	1	
フランス語会話（中級）	1	
フランス語のしくみと表現（初級）	2	
フランス語のしくみと表現（中級）	1	
中国語読解（初級） 1	1	
中国語読解（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 1	1	
中国語会話（初級） 2	1	
中国語会話（初級） 3	1	
中国語会話（初級） 4	1	
中国語のしくみと表現（初級） 1	1	
中国語のしくみと表現（初級） 2	1	
中国語会話（中級） 1	1	
中国語会話（中級） 2	1	
中国語会話（上級） 1	1	
中国語会話（上級） 2	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語会話（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級） 2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	1	
現代チベット語 a	1	
現代チベット語 b	1	
ラテン語入門 1	1	
ラテン語入門 2	1	
ヒンディー語 a	1	
ヒンディー語 b	1	

2 学科専門科目

国際文化学科

科目名	単位	備考
国際文化演習Ⅰ a	2	
国際文化演習Ⅰ b	2	
国際文化演習Ⅱ a	2	
国際文化演習Ⅱ b	2	
国際文化演習Ⅲ a	2	
国際文化演習Ⅲ b	2	
国際文化演習Ⅳ a	2	
国際文化演習Ⅳ b	2	
国際文化概論	2	

国 際 言 語 概 論	2	
比 較 文 化 講 義 1	2	
比 較 文 化 講 義 2	2	
英 米 の 文 化 1	2	
英 米 の 文 化 2	2	
英 米 の 文 化 3	2	
英 米 の 文 化 4	2	
英 米 の 文 化 5	2	
英 米 の 文 化 6	2	
英 語 学 概 論 1	2	
英 語 学 概 論 2	2	
英 語 の し く み 1	2	
英 語 の し く み 2	2	
ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 1	2	
ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 2	2	
東 ア ジ ア の 文 化 1	2	
東 ア ジ ア の 文 化 2	2	
日 本 ポ ッ プ カ ル チ ャ ー 論	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 1	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 2	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 3	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 4	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 5	2	
国 際 文 化 特 殊 講 義 6	2	
ア メ リ カ 文 学 講 義 1	2	
ア メ リ カ 文 学 講 義 2	2	
イ ギ リ ス 文 学 講 義 1	2	
イ ギ リ ス 文 学 講 義 2	2	
英 文 学 概 論 1	2	
英 文 学 概 論 2	2	
ド イ ツ 文 学 講 義 1	2	
ド イ ツ 文 学 講 義 2	2	
越 境 する ア ジ ア の 文 化 1	2	
越 境 する ア ジ ア の 文 化 2	2	
現 代 朝 鮮 半 島 事 情	2	
世 界 の 宗 教 と 文 化	2	
西 洋 史 講 義 1	2	
西 洋 史 講 義 2	2	
フ ラ ン ス 文 学 講 義 1	2	
フ ラ ン ス 文 学 講 義 2	2	
京 都 の 歴 史 と 文 化	2	
グ ロー カ ル ・ ボ ラ ン テ ィ ア 論	2	

グローバル・キャリア論	2	
国際関係論 1	2	
国際関係論 2	2	
キリスト教 1	2	
キリスト教 2	2	
英語基礎演習 a	2	
英語基礎演習 b	2	
実践文化演習 a (フィールド・ラーニング)	2	
実践文化演習 b (語学集中 ドイツ語)	2	
実践文化演習 c (語学集中 フランス語)	2	
実践文化演習 d (語学集中 中国語)	2	
実践文化演習 e (語学集中 韓国・朝鮮語)	2	
実践文化演習 f (語学研修 英語)	4	
実践文化演習 g (語学研修 中国語 1)	2	
実践文化演習 h (語学研修 中国語 2)	4	
実践文化演習 i (語学研修 韓国・朝鮮語)	4	
実践文化演習 j (文化研修 ヨーロッパ)	2	
実践文化演習 k (文化研修 インド)	2	
実践文化演習 l (文化研修 中国)	2	
グローバル・キャリア演習	2	
English Workshop & Camp	2	
English Workshop 2	2	
English Workshop 3	2	
English Workshop 4	2	
Pop Culture in English 1	2	
Pop Culture in English 2	2	
World News	2	
Global Communication	2	
Teaching English to Children1	2	
Teaching English to Children2	2	
言語文化演習 (英語) 1	2	
言語文化演習 (英語) 2	2	
言語文化演習 (ドイツ語) 1	2	
言語文化演習 (ドイツ語) 2	2	
言語文化演習 (フランス語) 1	2	
言語文化演習 (フランス語) 2	2	
言語文化演習 (中国語) 1	2	
言語文化演習 (中国語) 2	2	
言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 1	2	
言語文化演習 (韓国・朝鮮語) 2	2	
表現文化演習 1	2	
表現文化演習 2	2	

西 洋 史 文 献 を 読 む 1	2	
西 洋 史 文 献 を 読 む 2	2	
卒 業 研 究	8	

3 現代総合科目

キャリア形成系

科 目 名	単位	備 考
キャリアデザイン概論 1	2	
キャリアデザイン概論 2	2	
キャリアデザイン実践 1	2	
キャリアデザイン実践 2	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 1 大 学 コ ン ソ 京 都	2	
産学連携教育プログラム特殊演習 2 大 谷 大 学	2	
フィールドワーク特殊演習(PBL)	2	
思 考 法 入 門	2	
日 本 国 憲 法 1	2	
日 本 国 憲 法 2	2	
日 本 国 憲 法 3	2	
青 年 と 社 会 教 育	2	
社 会 福 祉 と 社 会 教 育	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉 1	2	
ポルトガル語圏のくらしと言葉 2	2	
情 報 メ デ ィ ア と 社 会	2	
ワード・プロセッシング入門	2	
ワード・プロセッシング応用	2	
P C 利用による表計算入門	2	
P C 利用による表計算応用	2	
P C 利用によるプレゼンテーション	2	
P C 利用によるレポート・論文技法	2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 入 門	2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2	
画 像 処 理 入 門	2	
画 像 処 理 応 用	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 入 門	2	
P C ミ ュ ー ジ ッ ク 応 用	2	
W e b サ イ ト 構 築 入 門	2	
W e b サ イ ト 構 築 応 用	2	
日 本 語 表 現 (入 門) 1	2	

日 本 語 表 現 （ 入 門 ） 2	2	
日 本 語 表 現 （ 実 践 ）	2	
発 想 か ら 表 現 へ	2	

自然生命系

科 目 名	単 位	備 考
自 然 と 生 物 の 科 学	2	
地 震 と 火 山 1	2	
地 震 と 火 山 2	2	
地 球 科 学 1	2	
地 球 科 学 2	2	
惑 星 科 学	2	
地 球 環 境 と 生 命 の 共 進 化	2	
生 命 の し く み と 多 様 性	2	
化 石 の 化 学	2	
星 の 世 界	2	
こ こ ろ の 科 学	2	
人 間 理 解 の 心 理 学	2	
人 間 関 係 の 心 理 学 1	2	
人 間 関 係 の 心 理 学 2	2	
コミュニケーションの心理学	2	
健 康 心 理 学	2	
心 理 療 法 概 論	2	
心 理 療 法 と 教 育	2	
行 動 の 科 学 1	2	
行 動 の 科 学 2	2	
脳 と こ こ ろ	2	
カ ウ ン セ リ ン グ	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 1	2	
ス ポ ー ツ と 健 康 の 科 学 2	2	
人 間 関 係 と 身 体 表 現	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 論	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 I	2	
パ ラ ス ポ ー ツ 研 究 演 習 II	2	
身 体 活 動 I	1	
身 体 活 動 II	1	
身体活動 I（パラスポーツ）	1	

身体活動Ⅱ（パラスポーツ）	1	
---------------	---	--

歴史文化系

科 目 名	単位	備 考
ドイツの歴史と文学	2	
中国の歴史と文学	2	
現代東南アジア事情	2	
漢字の世界	2	
近代日本とアジア	2	
古都の歴史と文化	2	
教 育 学 1	2	
教 育 学 2	2	
ドイツの言語文化	2	
ドイツの民衆文化	2	
フランスの言語文化	2	
フランスの民衆文化	2	
中国の言語文化	2	
中国の民衆文化	2	
チベットを見た日本人たち	2	
朝鮮半島の美術	2	
東南アジアの宗教文化	2	
インドの神々	2	
東アジアの宗教文化	2	
仏教と美術	2	
人と文化	2	
人と宗教	2	
芸術表現	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
仏教福祉論	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	
非戦の系譜	2	

障害者・病者と共に生きる	2	
--------------	---	--

4 大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目

科目名	単位	備考
検 定 英 語 I	2	
検 定 英 語 II	2	
検 定 英 語 III	2	
検 定 英 語 IV	2	
検 定 ド イ ツ 語 I	2	
検 定 ド イ ツ 語 II	2	
検 定 ド イ ツ 語 III	2	
検 定 ド イ ツ 語 IV	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 I	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 II	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 III	2	
検 定 フ ラ ン ス 語 IV	2	
検 定 中 国 語 I	2	
検 定 中 国 語 II	2	
検 定 中 国 語 III	2	
検 定 中 国 語 IV	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 I	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 II	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 III	2	
検 定 韓 国 ・ 朝 鮮 語 IV	2	

全学部共通開設科目

1 教職課程（中・高）

科目名	単位	備考
教 職 入 門 （ 中 ・ 高 ） 1	2	
教 職 入 門 （ 中 ・ 高 ） 2	2	
教 育 原 論 （ 中 ・ 高 ） 1	2	
教 育 原 論 （ 中 ・ 高 ） 2	2	
仏教と教育（中・高）	2	
教育心理学（中・高） 1	2	
教育心理学（中・高） 2	2	
青年心理学（中・高） 1	2	
青年心理学（中・高） 2	2	
特別支援教育概論（中・高）	2	
教育社会学（中・高） 1	2	
教育社会学（中・高） 2	2	

教育行財政学（中・高） 1	2	
教育行財政学（中・高） 2	2	
特別活動論（中・高）	2	
教育課程論（中・高）	2	
教育方法論（中・高） 1	2	
教育方法論（中・高） 2	2	
ICT活用教育の理論と方法（中・高）	1	
宗 教 科 教 育 法 I	2	
宗 教 科 教 育 法 II	2	
宗 教 科 教 育 法 III	2	
宗 教 科 教 育 法 IV	2	
中 社 ・ 地 歴 科 教 育 法 I	2	
中 社 ・ 地 歴 科 教 育 法 II	2	
中 社 ・ 公 民 科 教 育 法 I	2	
中 社 ・ 公 民 科 教 育 法 II	2	
国 語 科 教 育 法 I	2	
国 語 科 教 育 法 II	2	
国 語 科 教 育 法 III	2	
国 語 科 教 育 法 IV	2	
英 語 科 教 育 法 I	2	
英 語 科 教 育 法 II	2	
英 語 科 教 育 法 III	2	
英 語 科 教 育 法 IV	2	
数 学 科 教 育 法 I	2	
数 学 科 教 育 法 II	2	
数 学 科 教 育 法 III	2	
数 学 科 教 育 法 IV	2	
道徳教育の理論と方法（中等） 1	2	
道徳教育の理論と方法（中等） 2	2	
生徒・進路指導論（中・高）	2	
教 育 相 談 （ 中 ・ 高 ）	2	
総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2	
教育実習指導（中・高）	1	
教育実習 1 （中・高）	4	
教育実習 2 （中・高）	2	
教職実践演習（中・高）	2	
介 護 等 体 験	1	

2 教職課程

科 目 名	単 位	備 考
-------	-----	-----

体 育 実 技 1	1	
体 育 実 技 2	1	
体 育 実 技 1 1	1	
体 育 実 技 1 2	1	

3 保育士養成課程

科 目 名	単位	備 考
体 育 実 技 1	1	
体 育 実 技 2	1	
体 育 実 技 1 1	1	
体 育 実 技 1 2	1	

4 学校図書館司書教諭

科 目 名	単位	備 考
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2	
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2	
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2	
読 書 と 豊 かな 人 間 性	2	
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2	

5 博物館学課程

科 目 名	単位	備 考
生 涯 学 習 概 論 I	2	
生 涯 学 習 概 論 II	2	
博 物 館 経 営 論	2	
博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	2	
博 物 館 実 習 I	2	
博 物 館 実 習 II	1	

6 図書館学課程

科 目 名	単位	備 考
生 涯 学 習 概 論 I	2	
生 涯 学 習 概 論 II	2	
図 書 館 概 論	2	
図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2	
図 書 館 情 報 技 術 論	2	
図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2	
情 報 サ ー ビ ス 論	2	
児 童 サ ー ビ ス 論	2	
情 報 サ ー ビ ス 演 習 I	1	
情 報 サ ー ビ ス 演 習 II	1	

図 書 館 情 報 資 源 概 論	2	
情 報 資 源 組 織 論 Ⅰ	2	
情 報 資 源 組 織 論 Ⅱ	2	
情 報 資 源 組 織 演 習 Ⅰ	1	
情 報 資 源 組 織 演 習 Ⅱ	1	
図 書 館 基 礎 特 論	1	
図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	1	
図 書 館 情 報 資 源 特 論 Ⅰ	1	
図 書 館 情 報 資 源 特 論 Ⅱ	1	
図 書 ・ 図 書 館 史	1	
図 書 館 施 設 論	1	
図 書 館 総 合 演 習	1	
図 書 館 実 習	1	
文 書 情 報 管 理 論	2	
フ ァ イ リ ン グ 論	2	

7 真宗大谷派教師課程

科 目 名	単 位	備 考
声 明 作 法 Ⅰ	1	
声 明 作 法 Ⅱ	1	
教 化 学 演 習 Ⅰ	2	
教 化 学 演 習 Ⅱ	2	
仏 教 音 楽 Ⅰ	2	
仏 教 音 楽 Ⅱ	2	
宗 教 法 規	2	
矯 正 と 保 護 Ⅰ	2	
矯 正 と 保 護 Ⅱ	2	

8 社会教育課程

科 目 名	単 位	備 考
生 涯 学 習 概 論 Ⅰ	2	
生 涯 学 習 概 論 Ⅱ	2	
生 涯 学 習 支 援 論 Ⅰ	2	
生 涯 学 習 支 援 論 Ⅱ	2	
社 会 教 育 経 営 論 Ⅰ	2	
社 会 教 育 経 営 論 Ⅱ	2	
社 会 教 育 実 習 A	1	
社 会 教 育 演 習	2	
社 会 教 育 実 習 B	1	
社 会 教 育 課 題 研 究	2	

別表 I - 2 (第 20 条～第 22 条の 3 関係)

1 「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」(中等科)

免許状の種類 単位数 授業科目	最低修得単位数					
	中学校教諭一種			高等学校教諭一種		
	必修	選択	備考	必修	選択	備考
施行規則第 66 条の 6 に定める科目						
日本国憲法 1		2	いずれか		2	いずれか
日本国憲法 2		2	2 単位		2	2 単位
日本国憲法 3		2	必修		2	必修
体育実技 1		1	いずれか		1	いずれか
体育実技 2		1	1 単位		1	1 単位
体育実技 1 1		1	必修		1	必修
体育実技 1 2		1			1	
スポーツと健康の科学 1		2	いずれか		2	いずれか
スポーツと健康の科学 2		2	2 単位		2	2 単位
生涯スポーツ・レクリエーション活動		2	必修		2	必修
人間関係と身体表現		2			2	
I C T 入 門	2			2		
教科及び教科の指導法に関する科目						
宗教科教育法 I	2			2		
宗教科教育法 II	2			2		
宗教科教育法 III	2			2		
宗教科教育法 IV	2			2		
中社・地歴科教育法 I	2			2		
中社・公民科教育法 I	2			2		
中社・地歴科教育法 II	2			2		
中社・公民科教育法 II	2			2		
国語科教育法 I	2			2		
国語科教育法 II	2			2		
国語科教育法 III	2			2		
国語科教育法 IV	2			2		
英語科教育法 I	2			2		
英語科教育法 II	2			2		
英語科教育法 III	2			2		
英語科教育法 IV	2			2		
数学科教育法 I	2			2		
数学科教育法 II	2			2		
数学科教育法 III	2			2		

数学科教育法Ⅳ	2			2	
教育の基礎的理解に関する科目					
教育原論（中・高）1		2	いずれか		2
教育原論（中・高）2		2	2単位必修		2
教育原論	2		小と共通	2	小と共通
仏教と教育（中・高）	2	(2)	初等教育 コースのみ 選択	2	(2) 初等教育 コースのみ 選択
教職入門（中・高）1		2	いずれか		2
教職入門（中・高）2		2	2単位必修		2
教職入門	2		小と共通	2	小と共通
教育社会学（中・高）1		2	いずれか		2
教育社会学（中・高）2		2	2単位		2
教育行財政学（中・高）1		2	必修		2
教育行財政学（中・高）2		2			2
教育社会学		2	いずれか、2 単位必修		2
教育行財政学		2	小と共通		2
教育心理学（中・高）1		2	いずれか		2
教育心理学（中・高）2		2	2単位		2
青年心理学（中・高）1		2	必修		2
青年心理学（中・高）2		2			2
教育心理学		2	いずれか、 2単位必修		2
発達心理学		2	小と共通		2
特別支援教育概論（中・高）	2			2	
特別支援教育概論	2		小と共通	2	小と共通
教育課程論（中・高）	2			2	
教育課程論	2		小と共通	2	小と共通
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					
道徳教育の理論と方法（中等）1		2	いずれか		
道徳教育の理論と方法（中等）2		2	2単位必修		
道徳教育の理論と方法	2		小と共通		
総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2			2	
総合的な学習の時間の指導法	2		小と共通	2	小と共通
特別活動論（中・高）	2			2	
特別活動論	2		小と共通	2	小と共通
教育方法論（中・高）1		2	いずれか		2
教育方法論（中・高）2		2	2単位必修		2
教育方法論	2		小と共通	2	小と共通

ICT活用教育の理論と方法（中・高）	1			1	
ICT活用教育の理論と方法	1		小と共通	1	小と共通
生徒・進路指導論（中・高）	2			2	
生徒・進路指導論	2		小と共通	2	小と共通
教育相談（中・高）	2			2	
教育相談	2		小と共通	2	小と共通
教育実践に関する科目					
教育実習指導（中・高）	1			1	
教育実習1（中・高）	4			4	いずれか
教育実習2（中・高）				2	必修
教職実践演習（中・高）	2			2	
大学が独自に設定する科目					
部落史論 1		2		2	
部落史論 2		2	いずれか	2	いずれか
反カースト運動論		2	2単位	2	2単位
アイヌ民族と共に		2	必修	2	必修
障害者・病者と共に生きる		2		2	
道徳教育の理論と方法（中等）1				2	
道徳教育の理論と方法（中等）2				2	
道徳教育の理論と方法				2	小と共通
仏教と教育（初等）		2	小と共通	2	小と共通
防災・安全教育（初等）		2	小と共通	2	小と共通
授業心理学		2	小と共通	2	小と共通
教室の心理学		2	小と共通	2	小と共通
探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ		2	小と共通	2	小と共通
探求ゼミ（算数・数学）Ⅱ		2	小と共通	2	小と共通
探求ゼミ（算数・数学）Ⅲ		2	小と共通	2	小と共通

備考

- 1 教科別の教育法は受けようとする免許教科ごとにそれぞれ履修しなければならない。
- 2 「大学が独自に設定する科目」については、「教科及び教科の指導法に関する科目」・「教育の基礎的理解に関する科目」・「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」・「教育実践に関する科目」及びこれらに準ずる科目の内から、中学校教諭一種については4単位以上、高等学校教諭一種については12単位以上を履修しなければならない。
- 3 小学校教諭一種と共通開設する「教育の基礎的理解に関する科目」・「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」については、教育学部教育学科初等教育コースのみ受講可。

2-1 「施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 小学校教諭一種）

授業科目	単位数	最低修得単位数		
		必修	選択	備考
施行規則第 66 条の 6 に定める科目				
日 本 国 憲 法 1			2	いずれか 2 単位必修
日 本 国 憲 法 2			2	
日 本 国 憲 法 3			2	
体 育 実 技 1			1	いずれか 1 単位必修
体 育 実 技 2			1	
体 育 実 技 1 1			1	
体 育 実 技 1 2			1	
スポーツと健康の科学 1			2	いずれか 2 単位必修
スポーツと健康の科学 2			2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動			2	
人間関係と身体表現			2	
I C T 入 門	2			
教科及び教科の指導法に関する科目				
教 科 (国 語)			2	
教 科 (社 会)			2	
教 科 (算 数)			2	
代 数 学 概 論 1			2	中・高と共通
代 数 学 概 論 2			2	中・高と共通
幾 何 学 概 論 1			2	中・高と共通
幾 何 学 概 論 2			2	中・高と共通
解 析 学 概 論 1			2	中・高と共通
解 析 学 概 論 2			2	中・高と共通
教 科 (理 科)			2	
教 科 (生 活)			2	
教 科 (音 楽)			2	
教 科 (図 画 工 作)			2	
教 科 (家 庭)			2	
教 科 (体 育)			2	
教 科 (外 国 語)			2	
初等科教育法(国語)	2			
初等科教育法(社会)	2			
初等科教育法(算数)	2			
初等科教育法(理科)	2			
初等科教育法(生活)	2			
初等科教育法(音楽)	2			
初等科教育法(図画工作)	2			
初等科教育法(家庭)	2			

初等科教育法（体育）	2		
初等科教育法（外国語）	2		
教育の基礎的理解に関する科目			
教育原論	2		中・高と共通
教職入門	2		中・高と共通
教育社会学		2	いずれか2単位必修 中・高と共通
教育行財政学		2	
教育心理学		2	いずれか2単位必修 中・高と共通
発達心理学		2	
特別支援教育概論	2		中・高と共通
教育課程論	2		中・高と共通
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			
道徳教育の理論と方法	2		中・高と共通
総合的な学習の時間の指導法	2		中・高と共通
特別活動論	2		中・高と共通
教育方法論	2		中・高と共通
ICT活用教育の理論と方法	1		中・高と共通
生徒・進路指導論	2		中・高と共通
教育相談	2		中・高と共通
教育実践に関する科目			
教育実習指導（小）	1		
教育実習（小）	4		
教職実践演習（小）	2		
大学が独自に設定する科目			
仏教と教育（初等）	2		
こども教育史Ⅰ		2	
こども教育史Ⅱ		2	
教育学概論Ⅰ		2	
教育学概論Ⅱ		2	
教育人間学Ⅰ		2	
教育人間学Ⅱ		2	
障害のある子どもたち（初等）		2	
障害児の教育（初等）		2	
特別支援教育実践論（初等）		2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ		2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅱ		2	
探求ゼミ（算数・数学）Ⅲ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅰ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅱ		2	
探求ゼミ（理科）Ⅲ		2	

防災・安全教育（初等）		2	
実践体験活動演習（小）Ⅰ		2	
実践体験活動演習（小）Ⅱ		2	
運動会実践演習		2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ		2	
おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ		2	
授業心理学		2	
教室の心理学		2	
部落史論 1		2	いずれか 2単位必修
部落史論 2		2	
反コースト運動論		2	
アイヌ民族と共に		2	
障害者・病者と共に生きる		2	

備考

- 「大学が独自に設定する科目」については、「教科及び教科の指導法に関する科目」・「教育の基礎的理解に関する科目」・「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」・「教育実践に関する科目」及びこれらに準ずる科目の内から、小学校教諭一種については2単位以上を履修しなければならない。
- 「教科及び教科の指導法に関する科目」については、「教科に関する専門的事項」の内から、小学校教諭一種については20単位以上を履修しなければならない。

- 2-2 「施行規則第66条の6に定める科目」「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」（初等科 幼稚園教諭一種）

授業科目	単位数	最低修得単位数		
		必修	選択	備考
施行規則第66条の6に定める科目				
日本国憲法 1			2	いずれか 2単位必修
日本国憲法 2			2	
日本国憲法 3			2	
体育実技 1			1	いずれか 1単位必修
体育実技 2			1	
体育実技 1 1			1	
体育実技 1 2			1	
スポーツと健康の科学 1			2	いずれか 2単位必修
スポーツと健康の科学 2			2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動			2	
人間関係と身体表現			2	
I C T 入門	2			

領域及び保育内容の指導法に関する科目			
幼 児 と 健 康	1		
幼 児 と 人 間 関 係	1		
幼 児 と 環 境	1		
幼 児 と 言 葉	1		
幼 児 と 表 現 A	1		
幼 児 と 表 現 B	1		
保育内容（健康）の理論と方法	2		
保育内容（人間関係）の理論と方法	2		
保育内容（環境）の理論と方法	2		
保育内容（言葉）の理論と方法	2		
保育内容（表現）の理論と方法	2		
教育の基礎的理解に関する科目			
教 育 原 論 （ 幼 ）	2		
教 職 入 門 （ 幼 ）	2		
教 育 社 会 学 （ 幼 ）	2		
発 達 心 理 学 （ 幼 ）	2		
特別支援教育概論（幼）	2		
保 育 カ リ キ ュ ラ ム 論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			
教 育 方 法 論 （ 幼 ）	4		
子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）	2		
教育実践に関する科目			
教育実習指導（幼）	1		
教 育 実 習 （ 幼 ）	4		
教 職 実 践 演 習 （ 幼 ）	2		
大学が独自に設定する科目			
仏 教 と 教 育 （ 初 等 ）	2		
こ ど も 教 育 史 I		2	
こ ど も 教 育 史 II		2	
教 育 学 概 論 I		2	
教 育 学 概 論 II		2	
教 育 人 間 学 I		2	
教 育 人 間 学 II		2	
障害のある子どもたち（初等）		2	
特別支援教育実践論（初等）		2	
防災・安全教育（初等）		2	
実践体験活動演習（幼）I		2	
実践体験活動演習（幼）II		2	
運 動 会 実 践 演 習		2	

おおたに子育て支援演習		1	
児 童 文 化		2	
音 楽 理 論		2	
授 業 心 理 学		2	
教 室 の 心 理 学		2	
部 落 史 論 1		2	いずれか 2単位必修
部 落 史 論 2		2	
反 カ ー ス ト 運 動 論		2	
アイヌ民族と共に		2	
障害者・病者と共に生きる		2	

備考

「大学が独自に設定する科目」については、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」・「教育の基礎的理解に関する科目」・「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」・「教育実践に関する科目」及びこれらに準ずる科目の内から、幼稚園教諭一種については14単位以上を履修しなければならない。

3-1 保育士資格に関する科目

区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
教 養 科 目	仏教と教育（初等）	2		
	I C T 入 門	2		
	日 本 国 憲 法 1		2	いずれか 2単位必修
	日 本 国 憲 法 2		2	
	日 本 国 憲 法 3		2	
	英 語 I	1		4単位必修
	スポーツと健康の科学1		2	いずれか 2単位必修
	スポーツと健康の科学2		2	
	生涯スポーツ・レクリエーション活動		2	
	人間関係と身体表現		2	いずれか 1単位必修
	体 育 実 技 1		1	
	体 育 実 技 2		1	
	体 育 実 技 1 1		1	
	体 育 実 技 1 2		1	
	保 育 原 理 I	2		
	教 育 原 論 （ 幼 ）	2		
	児 童 家 庭 福 祉	2		
	社 会 福 祉	2		
	子ども家庭支援論	2		
	社 会 的 養 護	2		
	教 職 入 門 （ 幼 ）	2		

必修科目	発達心理学（幼）	2		
	子ども家庭支援の心理学	2		
	子ども理解の理論と方法(教育相談を含む)	2		
	子どもの保健	2		
	子どもの食と栄養	2		
	保育カリキュラム論	2		
	保育内容総論	2		
	保育内容(健康)の理論と方法	2		
	保育内容(人間関係)の理論と方法	2		
	保育内容(環境)の理論と方法	2		
	保育内容(言葉)の理論と方法	2		
	保育内容(表現)の理論と方法	2		
	幼児と健康	1		
	幼児と人間関係	1		
	幼児と環境	1		
	幼児と言葉	1		
	幼児と表現 A	1		
	幼児と表現 B	1		
	乳児保育 I	2		
	乳児保育 II	2		
	子どもの健康と安全	2		
	障害児保育	2		
	社会的養護演習	2		
	おおたに子育て支援演習	1		
	保育実習 I	4		保育所、施設において各 10 日以上、80 時間の実習を行う。
	保育実習指導 I	2		
	教職実践演習（幼）	2		
選択	保育原理 II		2	6 単位以上 必修
	青年心理学		2	
	相談援助		2	
	児童文化		2	
	言語表現		2	
	幼児音楽 I		2	
	幼児音楽 II		2	
	幼児音楽 III		2	
	図画工作 I		2	
	図画工作 II		2	

必修科目	保育実習Ⅱ		2	いずれか2単位必修 (保育所、施設いずれかにおいて10日以上、80時間の実習を行う。)
	保育実習Ⅲ		2	
	保育実習指導Ⅱ		1	いずれか 1単位必修
	保育実習指導Ⅲ		1	
	部落史論 1		2	いずれか 2単位必修
	部落史論 2		2	
	反カースト運動論		2	
	アイヌ民族と共に 障害者・病者と共に生きる		2	

3-2 保育心理士に関する科目

区分	授 業 科 目	単位数
必修科目	仏教と教育（初等）	2
	子ども家庭支援論	2
	子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）	2
	臨床心理学	2
	発達心理学（幼）	2
	障害児保育	2
	子ども家庭支援の心理学	2
	社会的養護演習	2
	こどもの描画分析	2
	おおたに子育て支援演習	1
	子どもの保健	2
	保育心理士実習	1
	保育心理士実習指導	1

4 学校図書館司書教諭に関する科目

区分	授 業 科 目	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	2

5 社会教育に関する専門科目

授 業 科 目	単位数
生涯学習概論	4
生涯学習支援論	4
社会教育経営論	4
社会教育実習A	1
社会教育演習、社会教育実習B又は 社会教育課題研究のうち1以上の科目	3
社会教育特講	8

6 博物館学に関する専門科目

区分	授 業 科 目		単位数	備 考
必修科目	生涯学習概論		2	
	博物館概論		2	
	博物館資料論		2	
	文化財保存科学論		2	
	博物館経営論		2	
	博物館情報・メディア論		2	
	博物館教育論		2	
	博物館展示論		2	
	博物館実習		3	
	展示実習		2	
	古文書解読法		4	
選択科目	A群	文化史	2	選択科目については、A群から4単位、B群から4単位、計8単位以上履修しなければならない。
		文化交流史	2	
		文化人類学	2	
	B群	美術史	2	
		考古学	2	
		民俗学	2	
		古文書学	2	

7 社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目

授 業 科 目	単位	備考
医学一般	2	
心理学	2	
社会学	2	
現代社会と福祉1	2	
現代社会と福祉2	2	

社 会 福 祉 調 査 論	2	
相談援助の基盤と専門職 1	2	
相談援助の基盤と専門職 2	2	
相談援助の理論と方法 1	2	
相談援助の理論と方法 2	2	
相談援助の理論と方法 3	2	
相談援助の理論と方法 4	2	
地 域 福 祉 論 1	2	
地 域 福 祉 論 2	2	
社 会 福 祉 施 設 経 営 論	2	
社 会 保 障 論 1	2	
社 会 保 障 論 2	2	
高 齢 者 福 祉	2	
障 害 者 福 祉	2	
児 童 福 祉	2	
公 的 扶 助 論	2	
保 健 医 療 サ ー ビ ス 論	2	
権利擁護と成年後見制度	2	
司 法 福 祉 論	2	
社会福祉援助技術演習 1	2	
社会福祉援助技術演習 2	2	
社会福祉援助技術演習 3	2	
社会福祉援助技術演習 4	2	
社会福祉援助技術演習 5	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	2	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	2	
社会福祉援助技術現場実習	6	(定められた施設又は事業所において、240時間の実習を行う。)

8-1 図書館学に関する専門科目

区分	授 業 科 目	単位数
必	生 涯 学 習 概 論	2
	図 書 館 概 論	2
	図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2

修 科 目	図 書 館 情 報 技 術 論	2
	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2
	情 報 サ ー ビ ス 論	2
	児 童 サ ー ビ ス 論	2
	情 報 サ ー ビ ス 演 習 I	1
	情 報 サ ー ビ ス 演 習 II	1
	図 書 館 情 報 資 源 概 論	2
	情 報 資 源 組 織 論	2
	情 報 資 源 組 織 演 習 I	1
	情 報 資 源 組 織 演 習 II	1
選 択 科 目	図 書 館 基 礎 特 論	1
	図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	1
	図 書 館 情 報 資 源 特 論	1
	図 書 ・ 図 書 館 史	1
	図 書 館 施 設 論	1
	図 書 館 総 合 演 習	1
	図 書 館 実 習	1

8-2 図書館学課程に関する推奨科目

授 業 科 目	単 位	備 考
文 書 情 報 管 理 論	2	
フ ァ イ リ ン グ 論	2	

9 真宗大谷派教師資格に関する科目

文学部

区 分	所 定 の 科 目	所 要 単 位 数	備 考
A 群 必 修 科 目	教行信証演習	4	すべての科目について、各科目の所要単位数以上履修すること。
	真宗学講義	4	
	真宗学演習	4	
	真宗史	4	
	仏教学講義	4	
	仏教学演習	4	
	差別問題	4	
	声明作法	2	
	仏教音楽	2	
	教化学	4	
	宗教法規	2	

B 群 選 択 必 修 科 目	歴 史 部 門	4	所定の科目 の各部門に ついて、所 要単位数以 上履修する こと。
	概 論 部 門	4	
	理 論 部 門 I	4	
	理 論 部 門 II	4	
	実 践 部 門	4	

社会学部・教育学部・国際学部

区 分	所 定 の 科 目	所 要 単 位 数	備 考
A 群 必 修 科 目	真 宗 学 講 義	6	すべての 科目につ いて、各科 目の所要 単位数以 上履修す ること。
	真 宗 学 演 習	6	
	仏 教 学	6	
	差 別 問 題	4	
	声 明 作 法	2	
	仏 教 音 楽	2	
	教 化 学	4	
	宗 教 法 規	2	
B 群 選 択 必 修 科 目	理 論 ・ 実 践 部 門	16	

別表Ⅱ（第35条・第55条・第56条・第56条の2・第56条の3・第57条・第66条関係）

入学検定料及び学費等一覧表

種別	文学部	社会学部	教育学部	国際学部	科目等 履修生	聴講生	研修員	外国人留 学研究生	備 考
入 学 検定料	35,000 (10,000)	35,000 (10,000)	35,000 (10,000)	35,000 (10,000)	—	—	—	—	受験時のみ ()内は「大学入学共通テスト 利用入試」の受験者
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	—	—	—	—	入学時のみ
授業料	840,000	840,000	940,000	840,000	—	—	—	—	年額
施設費	300,000 (100,000)	300,000 (100,000)	340,000 (100,000)	300,000 (100,000)	—	—	—	—	年額 ()内は入学年度のみ

選考料	—	—	—	—	10,000	10,000	—	10,000	出願時のみ
登録料	—	—	—	—	15,000	10,000	—	—	登録時のみ
履修料	—	—	—	—	15,000	—	—	—	1 単位(コース履修生含む)
聴講料	—	—	—	—	—	30,000	—	—	年額(週 2 時間)
	—	—	—	—	—	15,000	—	—	半年(週 2 時間)
研修費	—	—	—	—	—	—	240,000	—	年額
研究費	—	—	—	—	—	—	—	240,000	年額
	—	—	—	—	—	—	—	120,000	半年
在籍料	120,000	120,000	120,000	120,000	—	—	—	—	年額

注 1 編入学者、転入学者、再入学者の入学検定料は、上記に準ずる。

2 その他の費用については、別に定める。

○大谷大学履修規程

2018年1月17日制定

最近改正 2025年3月3日

(目的)

第1条 大谷大学学則（以下「学則」という。）第6章、第7章及び第8章施行のために履修規程を設ける。

(適用)

第2条 履修規程は、原則として入学時のものを適用する。

(登録)

第3条 学生の科目受講、コース、卒業研究題目及びその他の登録は、次の事項に留意し、所定の手続を行わなければならない。

- (1) 当該年度に履修しようとする授業科目は、指導教員の指導を受け、所定の期間内に登録しなければならない。ただし、一旦登録した授業科目は、修正登録期間及び履修辞退期間（別に定める）後は原則として変更を認めない。
- (2) 一年間に登録できる単位数の上限は、原則48単位とし、前期及び後期それぞれ原則24単位までとする。ただし、学長が特に認めたものについては、その限りではない。
- (3) コースは、第2学年進級時に各コースの教員の承認を得て、所定の期間内に登録しなければならない。ただし、教育学部教育学科は、入学時に決定しているため登録を不要とする。
- (4) 卒業研究の題目は、卒業年次に指導教員の承認を得て、指定期間内に登録しなければならない。
- (5) 以上の登録を完了しない場合は、受講、コース、卒業研究の提出等を認めない。

(卒業のための必要単位及び学年配当)

第4条 学則第19条に定める卒業所要単位については、「卒業単位配当表」（別表第1）の基準に基づき、次のとおり履修するものとする。

- (1) 共通基礎科目の履修は、次のとおりとする。

ア 「総合科目」は、第1学年に「人間学Ⅰ」4単位、第2～第4学年に「人間学Ⅱ」4単位以上、計8単位以上を必修とする。

イ 「大学導入」は、第1学年に「学びの発見」2単位及び「ICT入門」2単位を必修とする。

ウ 「必修外国語」のうち「外国語Ⅰ」は、文学部及び国際学部にあつては「英語Ⅰ」

及び「初修外国語Ⅰ」を、社会学部及び教育学部にあつては「英語Ⅰ」を第1学年時必修とする。「外国語Ⅱ」は、文学部及び国際学部にあつては「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」を、社会学部及び教育学部教育学科初等教育コースにあつては「英語Ⅱ」を第2学年時必修とする。「初修外国語」は「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）のうち、いずれか1カ国語を選択し履修する。履修単位数は、学部ごとに次のとおりとする。

文学部

「英語Ⅰ」4単位及び「初修外国語Ⅰ」4単位

「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」4単位

社会学部

「英語Ⅰ」4単位及び「初修外国語Ⅰ」0単位以上

「英語Ⅱ」4単位及び「初修外国語Ⅱ」0単位以上

教育学部

教育学科初等教育コース

「英語Ⅰ」4単位及び「初修外国語Ⅰ」0単位以上

「英語Ⅱ」4単位及び「初修外国語Ⅱ」0単位以上

教育学科幼児教育コース

「英語Ⅰ」4単位及び「初修外国語Ⅰ」0単位以上

国際学部

「英語Ⅰ」4単位及び「初修外国語Ⅰ」4単位

「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」4単位

エ 「選択外国語」

文学部 0単位以上

社会学部 0単位以上

教育学部 0単位以上

国際学部 2又は8単位以上

(2) 学科専門科目の履修は、次のとおりとする。

ア 演習の科目は、当該学年において必修とする。

イ その他の科目については、第1～第4学年において履修する。ただし、学年指定のある科目は当該学年において履修するものとする。

(3) 現代総合科目は、第1～第4学年において、文学部及び国際学部にあつてはキャリア

ア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ4単位以上、合計12単位以上を履修しなければならない。また、社会学部及び教育学部にあつては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ2単位以上、合計6単位以上を履修しなければならない。

- (4) 自己選択科目は、0単位以上とする。ただし、幅広い分野から履修した科目の単位を集計する領域とし、次の科目を認定することができる。

ア 他学部及び所属学部他学科の学科専門科目を履修した単位

イ 単位互換で修得した単位、入学前に修得した単位、留学先で修得した単位等

- (5) 第1号から前号までにおける単位の集計については、一つの科目の単位を複数の区分に分割して集計することはできないものとする。

- (6) 学年指定のある科目において、その学年に達していない学生は、これを受講できない。

(同一科目2度履修の禁止)

第5条 共通基礎科目必修外国語科目の再履修クラス、選択外国語の開講科目及び学科専門科目の「特殊講義」「特殊演習」を除き、同一科目を2度履修することはできないものとする。ただし、学長が特に認めたものは、その限りではない。

(副専攻)

第6条 学則第19条の2に規定する副専攻の種類、授業科目、単位数等の詳細は、「副専攻配当表」(別表第2)に定め、コア科目群及びリンク科目群に定められた単位を合計で20単位履修しなければならない。

- 2 副専攻の認定は1つに限り、認定を希望する者は第4学年進級時に指導教員の承認を得て、所定の期間内に「副専攻認定願」を提出しなければならない。
- 3 副専攻認定願を提出し、所定の単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が副専攻を認定する。
- 4 学長は、副専攻を認定した者に対して、卒業時に副専攻修了証明書を授与する。

(単位)

第7条 授業科目の単位数は、次の基準による。

- (1) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で、大谷大学(以下「本学」という。)が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 外国語、実験、実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(4) 卒業研究は、8単位とする。

2 単位認定には、全授業時数の3分の2以上の出席及び当該科目の試験に合格することを必要とする。

3 「大谷大学留学規程」に定める「留学」が許可された者の留学期間中における所属学年の「演習」の単位認定は、指導教員による指導、学生の定期的な研究成果報告等によって行うことができる。

4 次条第3項第5号による場合、当該科目又はその期の受験科目の単位が認定されないことがある。

(試験)

第8条 学則第27条に定める試験は、原則として学期末に行う。

2 試験は、筆答、レポート（論文）及び口述又は実技・実習によって行う。

3 次の各号のいずれかに該当する場合には、受験資格が与えられない。

- (1) 聴講登録をしていない場合
- (2) 学費を指定期間内に納入していない場合
- (3) 休学によって一部受講していない場合
- (4) 受験に際して有効な学生証を携帯しない場合
- (5) 受験中に不正な行為又は不当な行為をした場合

4 定期試験の受験の場合、原則として試験開始から20分経過するまで退出することを認めない。また、試験開始後15分までに入場した者は遅刻者として受験を許可し、それ以降は、原則として受験を認めない。

5 学生は、受験に際して「受験注意事項」を厳守しなければならない。

(追試験)

第9条 学則第30条に定める追試験は、各学部長が認めた限度内において実施する。

2 追試験を願い出ることができる者は、次の各号のいずれかに該当する理由により、定期試験を受けることができなかった者とする。

- (1) 疾病（医師の診断書添付）
- (2) 就職試験（受験証明書添付）
- (3) 不慮の事故又は災害（証明書添付）

(4) 交通機関のストライキ又は延着（証明書添付）

(5) その他正当と認められる理由

3 前項の受験希望者は、当該授業科目の試験当日より原則として1週間以内に「追試験受験願書」（証明書添付）を学生支援部教務課（以下「教務課」という。）に提出しなければならない。

4 追試験の実施時期は、その都度定める。

5 本学が指定した追試験期日に受験しなかった場合は、理由のいかんにかかわらず、再度の追試験は行わないものとする。

6 追試験の許可を得た者は、定められた期日までに1科目毎に所定の追試験料を納付しなければならない。

7 一旦納めた追試験料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

(GPA)

第10条 成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる。算出方法及び利用方法の詳細については、別に定める。

(卒業研究)

第11条 学則第28条に定める卒業研究は、次の要領で提出し、審査を受けなければならない。ただし、休学中の者は、提出できない。

(1) 卒業研究を提出しようとする者は、所定の期間内に指導教員の承認を得て「卒業研究題目」を登録し、指定期限までに卒業研究を提出しなければならない。

(2) 前号により登録した研究題目に変更が生じたときは、指導教員の承認を得て「卒業研究題目変更届」を指定期限までに提出しなければならない。

(3) 卒業研究の成果物に関しては、次のとおりとする。

ア 卒業論文 主論文（20,000字程度）

イ 卒業研究 調査報告書等（20,000字程度）

ウ 卒業制作 文芸作品、映像・音声作品、翻訳作品等及び作品解題（文学部、教育学部及び国際学部6,000字程度、社会学部20,000字程度）

(4) 卒業論文、卒業研究及び卒業制作の詳細については、別に定める。

(進級制)

第12条 学則第32条に基づく各学年の進級の基準については、別に定める「大谷大学進級規程」による。

2 「大谷大学留学規程」に定める「留学」が許可された者は、本人の責めに帰さない理由

により進級の基準を充たさなかった場合、特に学長が認めたものに限り前項は適用せず、進級するものとする。

(転籍)

第13条 転籍に関する必要事項は、別に定める。

(受講)

第14条 講義(演習、実習及び実技を含む。)は、その開講期間によって、次の4種類とする。

- (1) 前期講義
- (2) 後期講義
- (3) 通年講義
- (4) 集中講義

第15条 通年講義は、前期・後期継続して受講しなければならない。

第16条 他のコースの演習の科目を受講することは、原則として認めない。

第17条 共通基礎科目の必修外国語科目の受講は、次の基準による。

- (1) 「英語Ⅰ」及び「初修外国語Ⅰ」の履修は、第1学年において1週あたり4時間を指定されたクラスで受講しなければならない。
- (2) 「英語Ⅱ」及び「初修外国語Ⅱ」の履修は、第2学年において1週あたり4時間を指定されたクラスで受講しなければならない。
- (3) 当該学年において単位が得られなかった者は、原則として次の学年に再履修クラスで受講するものとする。

第18条 クラス指定された授業科目は、原則として指定クラスの授業科目を受講しなければならない。

(入学前の既修得単位等の認定)

第19条 学則第26条の2に定める入学前の既修得単位並びに学則第26条の5に定める大学以外の教育施設等における学修の認定は、編入学、転入学又は再入学の場合を除き、本学で修得した単位(科目等履修生で修得した単位等)を含めて40単位を上限とし、次の基準によるものとする。

- (1) 本学で修得した単位は、卒業単位配当表の科目区分の当該科目として認定する。ただし、学科専門科目への認定は、講義科目8単位を上限とし、8単位を超えたものは自己選択科目に認定する。
- (2) 本学以外の大学(専門職大学を含む。以下同じ。)、短期大学(専門職短期大学を

含む。以下同じ。）、高等専門学校又は専修学校の専門課程（以下「大学等」という。）で修得した単位のうち教養的科目又は専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の「英語」の単位並びに大学以外の教育施設等における学修のうち語学に関する単位は、8単位まで共通基礎科目の「英語」に認定することができる。同様に「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）の単位は、いずれか1カ国語について8単位まで共通基礎科目の「初修外国語」に認定することができる。それ以外の単位は、選択外国語に認定することができる。

- (3) 本学以外の大学等で修得した単位のうち前号以外の単位は、現代総合科目として、文学部及び国際学部にあつてはキャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ4単位、合計12単位を認定する。また、社会学部及び教育学部にあつては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ2単位、合計6単位を認定する。それ以外の単位は、自己選択科目に認定する。
- 2 認定の時期は、本学に入学した年度当初にのみ行うものとする。ただし、当該学期に休学した場合は、復学した学期当初に行う。
- 3 認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

（編・転入学生の入学前の既修得単位等の認定）

第20条 学則第26条の2に定める編・転入学生の大学等において修得した科目並びに学則第26条の5に定める大学以外の教育施設等における学修の単位認定は、本学で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて60単位を上限とし、次の基準によるものとする。

(1) 共通基礎科目

ア 「人間学Ⅰ」4単位、「人間学Ⅱ」4単位の認定は、本学当該科目を修得している場合に行うものとする。

イ 大谷大学短期大学部共通科目の「仏教と人間Ⅰ」（必修）と自由科目の「仏教と人間Ⅱ」（選択）の2科目4単位を修得している場合は、「人間学Ⅰ」4単位に充てることができる。ただし、いずれか1科目のみの単位認定は行わない。

ウ 「学びの発見」2単位及び「ICT入門」2単位は、編・転入学生全員に認定する。

エ 必修外国語は、「英語Ⅰ」4単位、「英語Ⅱ」4単位、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）のい

いずれか1カ国語について「初修外国語Ⅰ」4単位、「初修外国語Ⅱ」4単位まで認定することができる。

オ エにおける単位の認定は、教養的科目に該当する科目の修得単位数に応じて認定する。また、専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の単位をもってこれに充てることができる。

カ 選択外国語は、エの必修外国語で認定された科目を除き、教養的科目又は専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の単位をもって認定することができる。

(2) 学科専門科目は、「演習Ⅰ」4単位を認定する。ただし、教育学部教育学科にあっては、これらに加え「概論」、「講義」、「実践研究」の各区分を合わせて40単位を上限として認定する。認定については、大学等において履修した科目が、教育学部教育学科の学科専門科目として相応しい内容を持つもののみとし、現代総合科目及び自己選択科目と合わせて40単位を超えないものとする。

(3) 現代総合科目は、文学部及び国際学部にあつてはキャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ4単位、合計12単位を認定する。また、社会学部及び教育学部にあつては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ2単位、合計6単位を認定する。

(4) 自己選択科目は、前3号以外の単位を認定する。

(5) 第1号から前号までの認定可能な単位が60単位を超える場合は、自己選択科目の認定単位数から削減し、調整するものとする。

2 認定の時期は、本学に入学した年度当初にのみ行うものとする。ただし、当該学期に休学した場合は、復学した学期当初に行う。

3 修得単位の認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

(再入学者の入学前の既修得単位の認定)

第21条 学則第26条の2に定める再入学者の入学前の既修得単位の認定のうち、退学から再入学までの期間中に大学等で修得した単位並びに学則第26条の5に定める大学以外の教育施設等における学修がある場合は、本学で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて40単位を上限とし、第19条を準用して認定することができる。

2 前項の認定は、第19条により認定された単位がある場合でも、合わせて40単位を超えないものとする。

(編・転入学生の履修すべき科目・単位)

第22条 編・転入学を許可された者の卒業のための最低履修科目及び単位は、第4条に定めるところによる。ただし、第20条に定めるところによって単位認定された科目を除く。

2 編・転入学生の履修すべき科目のうち、次の科目については、第3学年に同時履修するものとする。

(1) 共通基礎科目の「人間学Ⅰ」

(2) 共通基礎科目の「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「初修外国語Ⅰ」「初修外国語Ⅱ」

(3) 学科専門科目の「演習Ⅱ」

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第23条 学則第26条の3に定める他の大学又は短期大学において修得した単位並びに学則第26条の5に定める大学以外の教育施設等における学修は、第19条又は第21条で認定した入学前の既修得単位と合わせて40単位を超えない範囲で、必修外国語、選択外国語、学科専門科目、現代総合科目又は自己選択科目に認定するものとする。

2 前項の単位を学科専門科目に認定する場合は、「単位互換制度」で指定された科目に限り、講義科目8単位を上限とする。

3 認定は、当該学期に修得した単位をその学期末に行うものとする。ただし、次の場合は例外とする。

(1) 認定の学期の単位認定申請期限内に、成績証明書が発行されなかった場合は、次の学期の当初に認定する。

(2) 前号で認定する学期に休学した場合は、復学した学期当初に認定する。

4 認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

(外国の大学又は外国の短期大学における単位の修得)

第24条 外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。)又は外国の短期大学(専門職短期大学に相当する外国の短期大学を含む。)で単位を修得した場合は、第19条から第21条及び前条の規定を準用する。

(所管)

第25条 この規程に関する事務の所管は、教務課とする。

(改廃)

第26条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

- 1 この規程は、2018年4月1日から施行する。ただし、2018年度入学生及び2020年度編入学生から適用し、2017年度以前入学生及び2019年度以前編入学生については、「大谷大学文学部履修規程（1972年4月1日制定）」による。
- 2 「大谷大学文学部履修規程（1972年4月1日制定）」は、2017年度以前入学及び2019年度以前編入学の在籍者がすべて離籍した年度末をもって廃止する。

付 則

この規程は、2019年3月4日に一部改正し、2019年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2020年3月5日に一部改正し、2020年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2021年3月4日に一部改正し、2021年4月1日から施行する。ただし、第4条、別表第1（第4条関係）については、2021年度入学生及び2023年度編入学生から適用する。

付 則

この規程は、2022年3月3日に一部改正し、2022年4月1日から施行する。ただし、第4条、第19条、第20条及び別表第1（第4条関係）については、2022年度入学生及び2024年度編入学生から適用する。

付 則

この規程は、2023年2月22日に一部改正し、2023年4月1日から施行する。ただし、別表第1（第4条関係）については、2023年度入学生及び2025年度編入学生から適用する。

付 則

- この規程は、2024年3月7日に一部改正し、2024年4月1日から施行する。ただし、別表第1（第4条関係）については、2024年度入学生及び2026年度編入学生から適用する。

付 則

- この規程は、2024年3月7日に一部改正し、2025年4月1日から施行する。ただし、別表第1（第4条関係）については、2025年度入学生及び2027年度編入学生から適用する。

付 則

この規程は、2025年2月25日に一部改正し、2025年4月1日から施行する。ただし、第4条、第20条、別表第1第4条関係については、2025年度入学生及び2027年度編入学生から適用する。2024年度以前の入学生については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例

による。

別表第1（第4条関係）

[卒業単位配当表]

文学部

<真宗学科>

区分		思想探究コース 現代臨床コース 国際コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ 英語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ 英語Ⅱ	4	2	
		初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語	英語	0以上	1～4	
		ドイツ語			
		フランス語			
		中国語			
		韓国・朝鮮語			
		チベット語			
		ラテン語			
		ヒンディー語			
	小計		24以上		
学科 専門 科目	演習	真宗学演習Ⅰ	4	1	
		真宗学演習Ⅱ	4	2	
		真宗学演習Ⅲ	4	3	
		真宗学演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論	真宗学概論	4以上	3～4	

講義	A	大乘仏教入門	2	※	仏教学科と共通
	B	親鸞の生涯と思想	8以上	※	
		親鸞思想の受容と展開			
		法然の生涯と思想			
		『教行信証』論			
		『歎異抄』論			
		真宗と諸宗教			
		インド仏教思想論			仏教学科と共通
		中国仏教思想論			仏教学科と共通
		日本仏教思想論			仏教学科と共通
		現代と真宗			
		真宗学特殊講義			
	C	浄土教史概説	4以上	※	
		真宗教団史			
		近代教学史			
		真宗典籍研究			
	D	宗教学概説	2以上	※	
		宗教史概論			
実践研究	A	仏教文献基礎演習	4	※	仏教学科と共通
	B	教行信証〈総序・教巻〉を読む	6以上	※	
		教行信証〈行巻〉を読む			
		教行信証〈信巻〉を読む			
		教行信証〈証巻〉を読む			
		教行信証〈真仏土巻〉を読む			
		教行信証〈化身土巻〉を読む			
	C	浄土経典を読む	10以上	※	
		維摩経を読む			仏教学科と共通
		法華経を読む			仏教学科と共通
		浄土論註を読む			
		観経疏を読む			

			選択集を読む				
			正信偈を読む				
			欧文仏典を読む				
			真宗学特殊演習				
	D		フィールドワーク1（思想探究）	2以上	※		
			フィールドワーク2（現代臨床）				
			フィールドワーク3（国際）				
	卒業研究		卒業論文		8	4	卒業年次に提出
	小計				66以上		
	現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
自然生命系		※	4以上	※			
歴史文化系		※	4以上	※			
小計				12以上			
自己選択科目				0以上	※		
合計				124以上			

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

< 仏教学科 >

区分			現代仏教コース 仏教思想コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語		英語	0以上	1～4	
			ドイツ語			
			フランス語			

学科専門科目			中国語			
			韓国・朝鮮語			
			チベット語			
			ラテン語			
			ヒンディー語			
	小計			24以上		
	演習	仏教学演習Ⅰ		4	1	
		仏教学演習Ⅱ		4	2	
		仏教学演習Ⅲ		4	3	
		仏教学演習Ⅳ		4	4	卒業研究指導を含む
	概論		仏教学概論	4以上	1～4	
	講義	A	大乘仏教入門	2	※	
		B	インド仏教思想論	10以上	※	
			中国仏教思想論			
			日本仏教思想論			
			中国仏教史			歴史学科と共通
			日本仏教史			歴史学科と共通
			浄土教史概説			真宗学科と共通
			宗教史			哲学科と共通
		C	インド学	8以上	※	
			現代仏教論			
			現代と真宗			真宗学科と共通
			死生学			哲学科と共通
			生命倫理			哲学科と共通
			人間関係学			哲学科と共通
			地域仏教論			
			仏教学特殊講義			
	実践研究	A	仏教文献基礎演習	4	※	真宗学科と共通
		B	現代仏教演習	12以上	※	
			地域仏教演習			

			初期仏典を読む			真宗学科と共通
			浄土経典を読む			
			維摩経を読む			
			法華経を読む			
			欧文仏典を読む			
			仏教学特殊演習			
		C				
			パーリ語			
			サンスクリット語			
			古典チベット語			
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
	現代総合科目	キャリア形成系	※	4以上	※	
自然生命系		※	4以上	※		
歴史文化系		※	4以上	※		
小計			12以上			
自己選択科目			0以上	※		
合計			124以上			

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<哲学科>

区分			哲学・西洋思想コース 心理学・人間関係学コース 倫理学・公共哲学コース 宗教学・死生学コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ外	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	4	1	
			英語Ⅱ	4	2	

		国 語 Ⅱ	初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語		英語	0以上	1～4	
			ドイツ語			
			フランス語			
			中国語			
			韓国・朝鮮語			
			チベット語			
			ラテン語			
			ヒンディー語			
	小計			24以上		
学 科 専 門 科 目	演習		哲学科演習Ⅰ	4	1	
			哲学科演習Ⅱ	4	2	
			哲学科演習Ⅲ	4	3	
			哲学科演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		哲学概論	8以上	1～4	
			倫理学概論			
			宗教学概論			
	講義	A	西洋哲学史（古代）	6以上	※	
			西洋哲学史（中世）			
			西洋哲学史（近世）			
		B	日本哲学	14以上	※	
			心理学入門			
			人間関係学			
			公共哲学			
			死生学			
			生命倫理			
			宗教史			
			キリスト教学			
			哲学科特殊講義			

	C	人文地理学	2以上	※	3・4は歴史学科と共通	
		世界地誌学			3・4は歴史学科と共通	
		法学概論				
		政治学概論				
		国際関係論				
		国際政治学				
		実践研究			A	批判的思考
	B		古典ギリシャ語入門	10以上	※	
			ギリシャ哲学文献を読む			
			英米哲学文献を読む			
			ドイツ哲学文献を読む			
			フランス哲学文献を読む			
			哲学科特殊演習			
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
小計			66以上			
現代総合科目	キャリア形成系	※	4以上	※		
	自然生命系	※	4以上	※		
	歴史文化系	※	4以上	※		
	小計		12以上			
自己選択科目			0以上	※		
合計			124以上			

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<歴史学科>

区分		日本史コース 世界史コース 歴史ミュージアムコース 京都探究コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	

学科専門科目	必修外国語	外国語 I	英語 I	4	1	
			初修外国語 I	4	1	
		外国語 II	英語 II	4	2	
			初修外国語 II		2	
	選択外国語		英語	0以上	1～4	
			ドイツ語			
			フランス語			
			中国語			
			韓国・朝鮮語			
			チベット語			
			ラテン語			
			ヒンディー語			
	小計			24以上		
	演習		歴史学演習 I	4	1	
			歴史学演習 II	4	2	
			歴史学演習 III	4	3	
			歴史学演習 IV	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		史学概論	10以上	1	「史学概論」4単位の履修を原則とする
			日本史学概論		1～4	
			東洋史学概論		1～4	
			西洋史学概論		1～4	
	講義	A	日本古代史講義	10以上	※	
			日本中世史講義			
			日本近世史講義			
			日本近現代史講義			
			中国古代史講義			
			中国中世史講義			
			中国近世・近代史講義			
			西洋史講義			

			歴史学特殊講義			
	B	京都探究講義	6以上	※		
		日本民俗学				
		中国仏教史				
		日本仏教史				
		真宗史				
		文化交流史				
		京都の歴史と文化				
		歴史地理学				
		考古学				
		美術史				
		古文書学概論				
		建築史				
		博物館概論				
		博物館資料論				
		文化財概論				
		文化財保存科学論				
		博物館教育論				
	C	人文地理学	0以上	※	1・2は哲学科と 共通	
		世界地誌学			1・2は哲学科と 共通	
		自然地理学				
		経済学概論				
		国際経済学				
		社会学総論				
実践研究	A	歴史学基礎演習	4	※		
	B	日本古代史料を読む	12以上	※		
		日本中世史料を読む				
		日本近世史料を読む				
		日本近現代史料を読む				
		中国古代・中世史料を読む				

		中国近世・近代史料を読む			
		交流史料を読む			
		西洋史文献を読む			
		京都探究調査演習			
		歴史学特殊演習			
		古文書演習			
		文化財調査演習			
		古文書解読法			
		漢文訓読法			
		博物館展示論			
		展示実習			
	卒業研究	卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計		66以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	4以上	※	
	自然生命系	※	4以上	※	
	歴史文化系	※	4以上	※	
	小計		12以上		
自己選択科目			0以上	※	
合計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<文学科>

区分		日本文学コース 現代文芸コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	4	1	
		英語Ⅱ	4	2	
	外国語Ⅰ外				

		国語Ⅱ	初修外国語Ⅱ	2	
	選択外国語		英語	0以上	1～4
			ドイツ語		
			フランス語		
			中国語		
			韓国・朝鮮語		
			チベット語		
			ラテン語		
			ヒンディー語		
	小計			24以上	
学科専門科目	演習		文学科演習Ⅰ	4	1
			文学科演習Ⅱ	4	2
			文学科演習Ⅲ	4	3
			文学科演習Ⅳ	4	4
	概論		国文学概論	8以上	1～4
			国語学概論		
			中国文学概論		
			現代文芸概論		
	講義	A	日本文学史	8以上	※
			国文法講義		
			中国語学講義		
			文藝塾講義		
			書道		
		B	古典文学	12以上	※
			近現代文学		
			文章表現学		
			中国文学史		
			中国思想史		
			中国文献学		

			アメリカ文学講義			国際文化学科と 共通
			イギリス文学講義			国際文化学科と 共通
			ドイツ近現代文学			国際文化学科と 共通
		C	仏教文学特殊講義		※	
			中国文学特殊講義			
	実践研究	A	文学鑑賞	14以上	※	
			漢文訓読演習			
			文藝塾実践演習Ⅰ			
		B	古典文学講読		※	
			近現代文学講読			
			中国文学講読			
			言語技術演習			
			文学教材講読			
			文藝塾実践演習Ⅱ			
			C			仏教文学特殊演習
		中国文学特殊演習				
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代 総合 科目	キャリア形成系	※		4以上	※	
	自然生命系	※		4以上	※	
	歴史文化系	※		4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目			0以上	※		
合計			124以上			

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

社会学部

<現代社会学科>

区分		現代社会学コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	

通 基 礎 科 目			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見		2	1	
		ICT入門		2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	0以上	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ	0以上	2	
	選択外国語	英語		0以上	1～4	
		ドイツ語				
		フランス語				
		中国語				
		韓国・朝鮮語				
		チベット語				
		ラテン語				
		ヒンディー語				
	小計			20以上		
学 科 専 門 科 目	演習	社会学演習Ⅰ		4	1	
		社会学演習Ⅱ		4	2	
		社会学演習Ⅲ		4	3	
		社会学演習Ⅳ		4	4	卒業研究指導を含む
	概論	仏教社会論		8	2	
		社会学概論			2	
		現代社会基礎			1	
		社会学入門			1	
	講義	現代社会論		20以上	※	
		人間関係論				
		心理学基礎				
		現代家族論				
		ジェンダーと社会				

	比較心理学		
	社会心理学		
	現代社会とコミュニケーション		
	教育社会学		
	個人と公共		
	社会問題論		
	地域社会論		
	地域福祉論		コミュニティデザイン学科と共通
	環境社会学		
	グローバリゼーション論		
	市民活動論		コミュニティデザイン学科と共通
	ボランティア論		コミュニティデザイン学科と共通
	地方自治論		コミュニティデザイン学科と共通
	犯罪と社会		
	現代文化論		
	文化社会学		
	観光社会学		
	宗教と社会		
	日本ポップカルチャー論		
	スポーツと社会		
	消費社会論		
	文化人類学		
	アジア社会論		
	情報と倫理		
	情報社会論		
	情報技術論		コミュニティデザイン学科と共通

現代総合					通					
			社会思想史							
			社会学史							
			社会調査論							
			社会動態論							
			比較社会論							
			経済と社会							
			現代社会とビジネス							
	実践研究	A	社会統計基礎	4	※					
			フィールドワーク技法基礎							
		B	フィールドワーク入門	16以上	※					
			探究フィールドワーク							
			ソーシャル・ドキュメント分析							
			社会統計演習							
			メディア・コミュニケーション分析							
			社会学文献講読（人間関係）							
			社会学文献講読（公共社会）							
			社会学文献講読（現代文化）							
			エスノグラフィ講読・作成							
			文化人類学文献講読							
			社会情報学文献講読							
			社会心理学文献講読							
			社会科学基礎演習							
			キャリア・ステージズ							
			卒業研究			卒業論文	8	4	卒業年次に提出	
			小計				72以上			
			キャリア形成系			※	2以上	※		
			自然生命系			※	2以上	※		
歴史文化系	※	2以上	※							

科目	小計		6以上		
	自己選択科目		0以上	※	
	合計		124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<コミュニティデザイン学科>

区分		地域政策学コース 情報メディアコース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通 基 礎 科 目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	0以上	1	
		外国語Ⅱ	4	2	
		初修外国語Ⅱ	0以上	2	
	選択外国語	英語	0以上	1～4	
		ドイツ語			
		フランス語			
		中国語			
		韓国・朝鮮語			
		チベット語			
		ラテン語			
		ヒンディー語			
	小計		20以上		
学科 専 門 科 目	演習	コミュニティデザイン演習Ⅰ	4	1	
		コミュニティデザイン演習Ⅱ	4	2	
		コミュニティデザイン演習Ⅲ	4	3	
		コミュニティデザイン演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論	A 仏教社会論	4	2	現代社会学科と共通

		コミュニティデザイン概論		1	
	B	地域政策概論	4以上	1	
		情報メディア概論			
		現代社会と福祉			
		社会学概論			現代社会学科と 共通
講義		ボランティア論	28以上	※	
		生活問題論			
		社会政策論			
		メディアと市民社会			
		市民活動論			
		社会調査論			現代社会学科と 共通
		宗教と社会			現代社会学科と 共通
		情報と倫理			現代社会学科と 共通
		情報社会論			現代社会学科と 共通
		地域と経済			
		非営利組織マネジメント論			
		コミュニティ形成論			
		ソーシャルビジネス論			
		地域と環境			
		犯罪と社会			現代社会学科と 共通
		地方自治論			
		社会問題論			現代社会学科と 共通
		情報技術論			
		コミュニティプランニング論			
		情報マーケティング論			
		社会福祉発達史			
		災害と防災			
		ターミナルケア論			

			メディア社会学			
			高齢者福祉			
			障害者福祉			
			児童福祉			
			社会保障論			
			地域福祉論			
			心理学			
			社会学			
			公的扶助論			
			相談援助の基盤と専門職			
		実践研究	A			プロジェクト研究入門Ⅰ
	プロジェクト研究入門Ⅱ					
	B		プロジェクト研究実践Ⅰ	16以上	※	
			プロジェクト研究実践Ⅱ			
			プロジェクト研究実践Ⅲ			
			プロジェクト研究実践Ⅳ			
			情報技術基礎演習			
	卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計			80以上		
	現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※
自然生命系		※	2以上	※		
歴史文化系		※	2以上	※		
小計			6以上			
自己選択科目			0以上	※		
合計			124以上			

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<コミュニティデザイン学科>

区分		社会福祉学コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	

基礎科目	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	0以上	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ	0以上	2	
	選択外国語		英語	0以上	1～4	
			ドイツ語			
			フランス語			
			中国語			
			韓国・朝鮮語			
			チベット語			
			ラテン語			
			ヒンディー語			
	小計			20以上		
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰ	4	1	
			コミュニティデザイン演習Ⅱ	4	2	
			コミュニティデザイン演習Ⅲ	4	3	
			コミュニティデザイン演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論	A	仏教社会論	4	2	現代社会学科と共通
			コミュニティデザイン概論			1
		B	地域政策概論	4以上	1	
			情報メディア概論			
			現代社会と福祉			
			社会学概論			現代社会学科と共通
		講義		ボランティア論	34以上	※
	生活問題論					
	社会政策論					

	メディアと市民社会		
	市民活動論		
	社会調査論		現代社会学科と 共通
	宗教と社会		現代社会学科と 共通
	情報と倫理		現代社会学科と 共通
	情報社会論		現代社会学科と 共通
	地域と経済		
	非営利組織マネジメント論		
	コミュニティ形成論		
	ソーシャルビジネス論		
	地域と環境		
	犯罪と社会		現代社会学科と 共通
	地方自治論		
	社会問題論		現代社会学科と 共通
	情報技術論		
	コミュニティプランニング論		
	情報マーケティング論		
	社会福祉発達史		
	災害と防災		
	ターミナルケア論		
	メディア社会学		
	高齢者福祉		
	障害者福祉		
	児童福祉		
	社会保障論		
	地域福祉論		
	心理学		
	社会学		

		医学一般			
		社会福祉調査論			
		公的扶助論			
		司法福祉論			
		社会福祉施設経営論			
		保健医療サービス論			
		権利擁護と成年後見制度			
		相談援助の基盤と専門職			
		相談援助の理論と方法			
実践研究	A	プロジェクト研究入門Ⅰ	4	※	
		プロジェクト研究入門Ⅱ			
	B	社会福祉援助技術演習1	10以上	※	
		社会福祉援助技術演習2			
		社会福祉援助技術演習3			
		社会福祉援助技術演習4			
		社会福祉援助技術演習5			
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ			
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ			
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ			
		社会福祉援助技術現場実習			
		社会福祉学特殊演習Ⅰ			
		社会福祉学特殊演習Ⅱ			
	C	プロジェクト研究実践Ⅰ	10以上	※	
		プロジェクト研究実践Ⅱ			
		プロジェクト研究実践Ⅲ			
		プロジェクト研究実践Ⅳ			
卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出

	小計		80以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	2以上	※	
	自然生命系	※	2以上	※	
	歴史文化系	※	2以上	※	
	小計		6以上		
自己選択科目			0以上	※	
合計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

教育学部

<教育学科>

区分		初等教育コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ 英語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	0以上	1	
		外国語Ⅱ 英語Ⅱ	4	2	
		初修外国語Ⅱ	0以上	2	
	選択外国語	英語	0以上	1～4	
		ドイツ語			
		フランス語			
		中国語			
		韓国・朝鮮語			
		チベット語			
		ラテン語			
		ヒンディー語			
	小計		20以上		
学	演習	小学校教育学演習Ⅰ	4	1	

		こどもの描画分析			
		教室の心理学			
		障害のある子どもたち（初等）			
		障害児の教育（初等）			
		特別支援教育実践論（初等）			
		防災・安全教育（初等）			
		生涯学習論			
		総合的な学習の時間の指導法			
		代数学概論 1			
		代数学概論 2			
		幾何学概論 1			
		幾何学概論 2			
		解析学概論 1			
		解析学概論 2			
		代数学 I			
		代数学 II			
		幾何学 I			
		幾何学 II			
		解析学 I			
		解析学 II			
		確率・統計学論			
		データの活用と分析			
		コンピュータ概論			
		プログラミング			
		情報と社会			
実践研究	A	実践体験活動演習（小） I	4	※	
		実践体験活動演習（小） II			
	B	初等科教育法（国語）	18以上	※	
		初等科教育法（社会）			
		初等科教育法（算数）			

		初等科教育法（理科）			
		初等科教育法（生活）			
		初等科教育法（音楽）			
		初等科教育法（図画工作）			
		初等科教育法（家庭）			
		初等科教育法（体育）			
		初等科教育法（外国語）			
		道徳教育の理論と方法			
		数学教育総論			
		教科（国語）			
		教科（社会）			
		教科（算数）			
		教科（理科）			
		教科（生活）			
		教科（音楽）			
		教科（図画工作）			
		教科（家庭）			
		教科（体育）			
		教科（外国語）			
		教育実習指導（小）			
		教育実習（小）			
		教職実践演習（小）			
		音楽実技Ⅰ			
		音楽実技Ⅱ			
		運動会実践演習			
		おわたにキッズキャンパス演習Ⅰ			
		おわたにキッズキャンパス演習Ⅱ			
	卒業研究	卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計		86以上		
現	キャリア形成系	※	2以上	※	

代 総 合 科 目	自然生命系	※	2以上	※	
	歴史文化系	※	2以上	※	
	小計		6以上		
自己選択科目			0以上	※	
合計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<教育学科>

区分			幼児教育コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通 基礎 科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	0以上	1	
	選択外国語		英語	0以上	1～4	
			ドイツ語			
			フランス語			
			中国語			
			韓国・朝鮮語			
			チベット語			
			ラテン語			
ヒンディー語						
小計			16以上			
学科 専門 科目	演習		幼児教育演習Ⅰ	4	1	
			幼児教育演習Ⅱ	4	2	
			幼児教育演習Ⅲ	4	3	
			幼児教育演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		教育原論（幼）	4	2	
			仏教と教育（初等）			

講義	A	教育人間学Ⅰ	6以上	※	初等教育コースと共通
		教育人間学Ⅱ			初等教育コースと共通
		発達心理学（幼）			
		特別支援教育概論（幼）			
		保育原理Ⅰ			
	B	教職入門（幼）	28以上	※	
		教育学概論Ⅰ			初等教育コースと共通
		教育学概論Ⅱ			初等教育コースと共通
		こども教育史Ⅰ			初等教育コースと共通
		こども教育史Ⅱ			初等教育コースと共通
		保育カリキュラム論			
		教育方法論（幼）			
		教育社会学（幼）			
		授業心理学			初等教育コースと共通
		こどもの描画分析			初等教育コースと共通
		教室の心理学			初等教育コースと共通
		音楽理論			
		保育原理Ⅱ			
		児童家庭福祉			
		社会福祉			
		児童文化			
		社会的養護			
		障害のある子どもたち（初等）			初等教育コースと共通
		特別支援教育実践論（初等）			初等教育コースと共通
		防災・安全教育（初等）			初等教育コースと共通
		生涯学習論			初等教育コースと共通

		子ども家庭支援論			
		子どもの保健			
		乳児保育Ⅰ			
		子ども家庭支援の心理学			
		青年心理学			
		臨床心理学			
実践研究	A	実践体験活動演習（幼）Ⅰ	2	※	
		実践体験活動演習（幼）Ⅱ	2以上		
		運動会実践演習			初等教育コース と共通
		おおたに子育て支援演習			
	B	保育実習Ⅰ	20以上	※	
		保育実習指導Ⅰ			
		保育実習Ⅱ			
		保育実習指導Ⅱ			
		保育実習Ⅲ			
		保育実習指導Ⅲ			
		教育実習（幼）			
		教育実習指導（幼）			
		保育心理士実習			
		保育心理士実習指導			
		教職実践演習（幼）			
		子どもの理解の理論と方法（教育相談を含む）			
		乳児保育Ⅱ			
		社会的養護演習			
		子どもの健康と安全			
		子どもの食と栄養			
		保育内容総論			
		幼児と健康			
		幼児と人間関係			
		幼児と環境			

		幼児と言葉			
		幼児と表現A			
		幼児と表現B			
		保育内容（健康）の理論と方法			
		保育内容（人間関係）の理論と方法			
		保育内容（環境）の理論と方法			
		保育内容（言葉）の理論と方法			
		保育内容（表現）の理論と方法			
		図画工作Ⅰ			
		図画工作Ⅱ			
		幼児音楽Ⅰ			
		幼児音楽Ⅱ			
		幼児音楽Ⅲ			
		器楽演習A			
		器楽演習B			
		言語表現			
		野外活動			
		総合表現演習Ⅰ			
		総合表現演習Ⅱ			
		保育内容実践演習 A			
		保育内容実践演習 B			
		保育内容実践演習 C			
		障害児保育			
		相談援助			
	卒業研究	卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計		86以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	2以上	※	
	自然生命系	※	2以上	※	
	歴史文化系	※	2以上	※	
	小計		6以上		

自己選択科目		0以上	※	
合計		124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

国際学部

<国際文化学科>

区分		英語コミュニケーションコース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ	4	2	
		初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語	英語	8以上	1～4	「インテンシブ英会話（中級）1・2」の履修を原則とする
		ドイツ語			
		フランス語			
		中国語			
		韓国・朝鮮語			
		チベット語			
		ラテン語			
		ヒンディー語			
	小計		32以上		
学科 専門 科目	演習	国際文化演習Ⅰ	4	1	
		国際文化演習Ⅱ	4	2	
		国際文化演習Ⅲ	4	3	
		国際文化演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論	国際文化概論	2	1	

		国際言語概論	2	1	
講義		比較文化講義	18以上	※	
		英米の文化			
		英語学概論			
		英語のしくみ			
		ヨーロッパの文化			
		東アジアの文化			
		日本ポップカルチャー論			
		国際文化特殊講義			
		アメリカ文学講義			
		イギリス文学講義			
		英文学概論			
		ドイツ文学講義			
		越境するアジアの文化			
		現代朝鮮半島事情			
		世界の宗教と文化			
		西洋史講義			歴史学科と共通
		フランス文学講義			
		京都の歴史と文化			歴史学科と共通
		グローカル・ボランティア論			
		グローカル・キャリア論			
		国際関係論			哲学科と共通
		キリスト教学			哲学科と共通
実践研究	A	英語基礎演習	4	※	
	B	実践文化演習a (フィールドラーニング)	12以上	※	
		実践文化演習b (語学集中 ドイツ語)			
		実践文化演習c (語学集中 フランス語)			
		実践文化演習d (語学集中 中国語)			
		実践文化演習e (語学集中 韓国・朝鮮語)			

		実践文化演習f (語学研修 英語)			
		実践文化演習g (語学研修 中国語1)			
		実践文化演習h (語学研修 中国語2)			
		実践文化演習i (語学研修 韓国・朝鮮語)			
		実践文化演習j (文化研修 ヨーロッパ)			
		実践文化演習k (文化研修 イト)			
		実践文化演習l (文化研修 中国)			
		グローバル・キャリア演習			
		English Workshop & Camp			
		English Workshop			
	C	Pop Culture in English	8以上	※	
		World News			
		Global Communication			
		Teaching English to Children			
		言語文化演習 (英語)			
		言語文化演習 (ドイツ語)			
		言語文化演習 (フランス語)			
		言語文化演習 (中国語)			
		言語文化演習 (韓国・朝鮮語)			
		表現文化演習			
		西洋史文献を読む			歴史学科と共通
	卒業研究	卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計		70以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	4以上	※	
	自然生命系	※	4以上	※	
	歴史文化系	※	4以上	※	
	小計		12以上		
	自己選択科目		0以上	※	
合計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

<国際文化学科>

区分		欧米文化コース アジア文化コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通 基礎 科目	総合科目	人間学Ⅰ	4	1	
		人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ 英語Ⅰ	4	1	
		初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ 英語Ⅱ	4	2	
		初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語	英語	2以上	1～4	
		ドイツ語			
		フランス語			
		中国語			
		韓国・朝鮮語			
		チベット語			
		ラテン語			
		ヒンディー語			
	小計		26以上		
学科 専門 科目	演習	国際文化演習Ⅰ	4	1	
		国際文化演習Ⅱ	4	2	
		国際文化演習Ⅲ	4	3	
		国際文化演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論	国際文化概論	2	1	
		国際言語概論	2	1	
	講義	比較文化講義	26以上	※	
		英米の文化			
		英語学概論			

		英語のしくみ			
		ヨーロッパの文化			
		東アジアの文化			
		日本ポップカルチャー論			
		国際文化特殊講義			
		アメリカ文学講義			
		イギリス文学講義			
		英文学概論			
		ドイツ文学講義			
		越境するアジアの文化			
		現代朝鮮半島事情			
		世界の宗教と文化			
		西洋史講義			歴史学科と共通
		フランス文学講義			
		京都の歴史と文化			歴史学科と共通
		グローカル・ボランティア論			
		グローカル・キャリア論			
		国際関係論			哲学科と共通
		キリスト教学			哲学科と共通
実践研究	A	英語基礎演習	4	※	
	B	実践文化演習a (フィールドラーニング)	2以上	※	
		実践文化演習b (語学集中 ドイツ語)			
		実践文化演習c (語学集中 フランス語)			
		実践文化演習d (語学集中 中国語)			
		実践文化演習e (語学集中 韓国・朝鮮語)			
		実践文化演習f (語学研修 英語)			
		実践文化演習g (語学研修 中国語1)			
		実践文化演習h (語学研修 中国語2)			
		実践文化演習i (語学研修 韓国・朝鮮語)			

		実践文化演習j (文化研修 ヨーロッパ)			
		実践文化演習k (文化研修 インド)			
		実践文化演習l (文化研修 中国)			
		グローバル・キャリア演習			
		English Workshop & Camp			
		English Workshop			
	C	Pop Culture in English	6以上	※	
		World News			
		Global Communication			
		Teaching English to Children			
		言語文化演習 (英語)			
		言語文化演習 (ドイツ語)			
		言語文化演習 (フランス語)			
		言語文化演習 (中国語)			
		言語文化演習 (韓国・朝鮮語)			
		表現文化演習			
		西洋史文献を読む			歴史学科と共通
	卒業研究	卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計		66以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	4以上	※	
	自然生命系	※	4以上	※	
	歴史文化系	※	4以上	※	
	小計		12以上		
自己選択科目			0以上	※	
合計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

別表第2 (第6条)

[副専攻配当表]

2018年度入学生及び2020年度編入学生より副専攻制度は休止する。

<教育学部 教育学科> 初等教育コース

【2025年度以降入学生・2027年度以降編入学生適用】

区分		初等教育コース	最低履修 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入	学びの発見	2	1	
		ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	0以上	2 2	
	選択外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語 等	0以上	1～4	
	小 計		20以上		
学科専門科目	演習	小学校教育学演習Ⅰ	4	1	卒業研究指導を含む
		小学校教育学演習Ⅱ	4	2	
		小学校教育学演習Ⅲ	4	3	
		小学校教育学演習Ⅳ	4	4	
	概論	教育原論	4	1	幼児教育コースと共通
		仏教と教育（初等）		2	
	講義	A 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 特別支援教育概論 教育人間学Ⅰ 教育人間学Ⅱ	6以上	※	
		B 教職入門 教育心理学 発達心理学 教育社会学 教育行財政学 教育課程論 特別活動論 教育方法論 ICT活用教育の理論と方法 生徒・進路指導論 教育相談 こども教育史Ⅰ こども教育史Ⅱ 探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ 探求ゼミ（算数・数学）Ⅱ 探求ゼミ（算数・数学）Ⅲ 探求ゼミ（理科）Ⅰ 探求ゼミ（理科）Ⅱ 探求ゼミ（理科）Ⅲ 授業心理学 こどもの描画分析 教室の心理学 障害児の教育（初等） 障害のある子どもたち（初等） 特別支援教育実践論（初等） 防災・安全教育（初等） 生涯学習論 総合的な学習の時間の指導法 代数学概論Ⅰ 代数学概論Ⅱ 幾何学概論Ⅰ 幾何学概論Ⅱ 解析学概論Ⅰ 解析学概論Ⅱ 代数学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅰ 幾何学Ⅱ 解析学Ⅰ 解析学Ⅱ 確率・統計学概論 データの活用と分析 コンピュータ概論 プログラミング 情報と社会	30以上	※	
	実践研究	A 実践体験活動演習（小）Ⅰ 実践体験活動演習（小）Ⅱ	4	1	
		B 初等科教育法（国語） 初等科教育法（社会） 初等科教育法（算数） 初等科教育法（理科） 初等科教育法（生活） 初等科教育法（音楽） 初等科教育法（図画工作） 初等科教育法（家庭） 初等科教育法（体育） 初等科教育法（外国語） 道德教育の理論と方法 数学教育総論 教科（国語） 教科（社会） 教科（算数） 教科（理科） 教科（生活） 教科（音楽） 教科（図画工作） 教科（家庭） 教科（体育） 教科（外国語） 教育実習指導（小） 教育実習（小） 教職実践演習（小） 小学校プログラミング演習 音楽実技Ⅰ 音楽実技Ⅱ 運動会実践演習 おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ	18以上	※	
		卒業研究	8	4	
		小 計	86以上		
現代総合科目	キャリア形成系	※	2以上	※	
	自然生命系	※	2以上	※	
	歴史文化系	※	2以上	※	
	小 計		12以上		
自己選択科目			0以上	※	
合 計			124以上		

※開講科目及び履修学年配当については、別に定める

○大谷大学学位規程

1976年4月1日

制定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 大谷大学学位規程は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条及び学位規則（昭和28年文部省令第9号）の規定に基づき、大谷大学（以下「本学」という。）において授与する学位の種類、論文審査の方法、試験及び学力の認定の方法、その他学位に関し必要な事項を定めるものとする。

(学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は、博士、修士及び学士とする。

(博士の学位授与の要件)

第3条 博士の学位は、その専攻分野について研究者として独創的研究活動を行うに必要な高度で精深な研究能力とその基礎となる幅広い豊かな学識を有する者に授与するものであり、本学大学院学則第22条第2項の定めるところにより、本学大学院博士後期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学大学院学則第22条第3項により、前項に規定するもののほか、本学に博士の学位論文（以下「博士論文」という。）を提出してその審査に合格し、かつ、専攻分野に関し本学大学院の博士後期課程を修了したものと同等以上の学力を有することが、試問によって確認された者にも授与することができる。

(修士の学位授与の要件)

第4条 修士の学位は、広い視野に立って精深な学識をそなえ、かつ、その専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有する者に授与するものであり、本学大学院学則の定めるところにより、本学大学院修士課程を修了した者に授与する。

(学士の学位授与の要件)

第5条 学士の学位は、本学学則の定めるところにより、本学学部を卒業した者に授与する。

(専攻分野の名称)

第6条 本学が授与する学位には、次のとおり専攻分野の名称を付記する。

(1) 博士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	研究科	付記する名称
博士	人文学研究科	文学

(2) 修士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	研究科	専攻	付記する名称
修士	人文学研究科	真宗学専攻 仏教学専攻 哲学専攻 仏教文化専攻 国際文化専攻	文学
		教育・心理学専攻	教育学

(3) 学士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	学部	付記する名称
学士	文学部	文学
	社会学部	社会学
	教育学部	教育学
	国際学部	文学

(学位の名称の使用)

第7条 学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、本学名を付記するものとする。

第2章 博士及び修士の学位

(博士の学位授与の申請)

第8条 博士の学位授与を申請する者は、次の各号のいずれかによるものとする。

- (1) 第3条第1項の規定による者にあつては、別表第5（イ）に定める学位授与申請書に博士論文を印刷製本したものを6部、博士論文の電子データ、別表第6に定める論文目録3部のほか博士論文の要旨、博士論文の要旨の電子データ及び別表第7に定める学位論文審査料を添えて学長に提出するものとする。ただし、学位論文審査のために必要があるときは、参考論文又は資料等を提出させることがある。
- (2) 第3条第2項の規定による者にあつては、別表第5（ロ）に定める学位授与申請書に博士論文を印刷製本したものを6部、博士論文の電子データ、別表第6に定める論文目録3部のほか博士論文の要旨、博士論文の要旨の電子データ、履歴書、業績書各1部及び別表第7に定める学位論文審査料を添えて学長に提出するものとする。

(修士の学位授与の申請)

第9条 修士の学位授与を申請する者は、別表第5（ハ）に定める学位授与申請書に修士の学位論文（以下「修士論文」という。）2部を添えて学長に提出するものとする。

(博士論文及び修士論文の受理)

第10条 博士論文及び修士論文の受理は、大学院委員会（以下「委員会」という。）の議を経て、学長が決定する。

2 一旦受理した博士論文、修士論文、学位論文審査料等は、いかなる事由があっても返還しない。

(博士論文、修士論文の審査の委嘱)

第11条 学長は、博士論文又は修士論文を受理したとき、委員会にその審査を委嘱する。

(学位論文審査委員)

第12条 委員会は、学位論文審査委員（以下「審査委員」という。）を選出して論文の審査に当たらしめる。

2 審査委員の構成は、次のとおりとする。

- (1) 第8条第1号の博士論文の審査については、指導教員を主査とし、副査は、各専攻の専攻科目で開設する、特殊研究（演習）、特殊研究Ⅰ（講義）及び特殊研究Ⅱ（文献研究）を担当する者（教育・心理学専攻は、専攻科目で開設する科目を担当する者）のうちから委員会が指名する1名を含んで2名以上とする。ただし、3親等以内の親族を含めないものとする。
- (2) 第8条第2号の博士論文の審査については、委員会の指名する当該専攻の教授を主査とし、副査は、各専攻の専攻科目で開設する、特殊研究（演習）、特殊研究Ⅰ（講義）及び特殊研究Ⅱ（文献研究）を担当する者（教育・心理学専攻は、専攻科目で開設する科目を担当する者）のうちから委員会が指名する1名を含んで2名以上とする。ただし、3親等以内の親族を含めないものとする。
- (3) 前2号の副査には、他の大学又は研究機関等の教員、研究員、それらに相当する学識経験者等の学外者を含めることを原則とする。また、委員会が必要と認めたときは、本学の教員を加えることができる。
- (4) 第9条の修士論文の審査については、指導教員を主査とし、委員会の指名する大学院授業担当教員を副査とする。
- (5) 委員会が必要と認めたときは、前号の規定にかかわらず、副査に本学の名誉教授、教員及びそれらに相当する学識経験を加えることができる。

(博士論文、修士論文の審査及び試験)

第13条 第8条第1号の博士論文の審査及び最終試験は、当該論文を受理した後、6カ月以内に終了するものとする。

2 第8条第2号の博士論文の審査及び試験は、当該論文を受理した後、1年以内に終了するものとする。

3 第9条の修士論文の審査及び最終試験は、当該論文を受理した後、3カ月以内に終了するものとする。

4 審査委員は、博士論文又は修士論文を中心とし、審査期間中適当な時期に口述又は筆答をもって、最終試験又は試験を行う。

(博士論文の発表会)

第13条の2 第8条の博士論文については、最終試験までに博士論文発表会を開催するものとする。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めた場合は、発表を免除することができる。

(学力の確認)

第14条 第3条第2項の規定による学力の確認は、口述又は筆答による試問を行うものとし、外国語については2カ国語を課するを原則とする。

2 本学大学院博士後期課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、第3条第2項の規定により学位授与を申請する場合は、その退学の日から起算して3年以内に限り、学力の確認を免除することができる。

(審査結果の報告)

第15条 審査委員は、審査終了後ただちにその結果を委員会に報告しなければならない。

(論文審査の議決)

第16条 委員会は、審査委員の報告に基づき、第3条第1項によるものについては博士論文、同条第2項によるものについては博士論文及び試験又は学力の確認の結果につき、無記名投票により可否について議決する。

2 前項の委員会の議決は、委員総数の3分の2以上の出席を必要とし、合格については出席者の4分の3以上の同意を必要とする。ただし、公務のための欠席者は前記の定員に算入しない。

3 第1項の無記名投票結果については、委員会でのみ票数を公表する。

(課程修了の議決)

第16条の2 委員会は、審査委員の報告に基づき、第3条第1項及び第4条によるものに

については、本学大学院学則の定めるところにより、それぞれの課程の修了の可否について議決する。

- 2 前項の委員会の議決は、委員総数の3分の2以上の出席を必要とし、合格については出席者の4分の3以上の同意を必要とする。ただし、公務のための欠席者は前記の定員に算入しない。

(学長への報告)

第17条 委員会が、学位を授与すべきものと議決したとき、大学院人文学研究科長は、論文に審査要旨及び最終試験又は試験の成績を添え、文書により学長に報告しなければならない。なお、第3条第2項の規定により学位の申請をするものについては、試問の成績も添えなければならない。ただし、修士にあつては、合格判定報告書をもって、これにかえることができる。

(学位の授与)

第18条 学長は、前条の報告を十分に考慮し、博士及び修士の学位の授与を決定する。

(学位記)

第19条 本学は、博士及び修士の学位の授与を決定した者に学位記を授与する。

- 2 学位記の様式は別表第1から別表第3までのとおりとする。

(博士論文要旨の公表)

第20条 本学は、博士の学位を授与した日から3カ月以内に、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を本学ホームページ等に公表するものとする。

(博士論文の公表)

第21条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内にその論文をインターネットの利用により公表するものとする。ただし、当該学位を授与される以前に、すでにその論文をインターネットの利用により公表したものについてはこの限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものをインターネットの利用により公表することができる。この場合、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

(博士の学位授与の報告)

第22条 本学において博士の学位を授与したときは、学長は当該博士の学位を授与した日から3カ月以内に、別表第8の様式による学位（博士）授与報告書を文部科学大臣に提

出するものとする。

第3章 学士の学位

(学位の授与)

第23条 学長は、教授会の議を経て、第5条に定める者に対し、学士の学位の授与を決定する。

(学位記)

第24条 本学は、学士の学位の授与を決定した者に卒業証書・学位記を授与する。

2 卒業証書・学位記の様式は別表第4のとおりとする。

第4章 学位授与の取消し

(学位授与の取消し)

第25条 学長は、学位を授与した者にその名誉を汚辱する行為があったとき、又は不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、委員会又は教授会の議を経て、学位の授与を取消し、学位を返還させることができる。

2 前項の委員会又は教授会の議決は、構成員総数の3分の2以上の出席及び出席者の4分の3以上の同意を必要とする。

第5章 所管及び改廃

(所管)

第26条 この規程に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

(改廃)

第27条 この規程の改廃は、委員会又は教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

1 本規程は、1976年4月1日から施行する。

2 1965年12月1日施行の「大谷大学学位規定」は、1976年3月31日をもって廃止する。

付 則

この規程は、1977年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、1981年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、1992年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、1995年4月1日から施行する。ただし、学士の学位については、1992年4月1日に遡及して適用する。

付 則

この規程は、1999年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2000年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2003年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2007年7月18日に一部改正し、同日から施行する。

付 則

この規程は、2009年3月4日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2010年2月16日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2013年3月4日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2015年3月5日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2016年3月10日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2016年7月20日に一部改正し、2016年4月1日に遡及して施行する。

付 則

この規程は、2017年3月2日に一部改正し、2017年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2018年3月1日に一部改正し、2018年4月1日から施行する。ただし、第6条については、2018年度入学生及び2020年度編入学生から適用し、2017年度以前入学生及び2019年度以前編入学生については、従前の規程による。

付 則

この規程は、2021年3月4日に一部改正し、2021年4月1日から施行する。ただし、第6条については、2021年度入学生及び2023年度編入学生から適用し、2020年度以前入学

生及び2022年度以前編入学生については、従前の規程による。

付 則

この規程は、2021年7月21日に一部改正し、文部科学大臣の認可の日（2021年8月27日）から施行する。

付 則

この規程は、2022年3月3日に一部改正し、2022年4月1日から施行する。ただし、第6条第1号及び第2号並びに別表第1—1（第19条関係）（第3条第1項による場合）、別表第1—2（第19条関係）（第3条第1項による場合）、別表第3（第19条関係）（第4条による場合）、別表第5（イ）（第8条関係）（第8条第1号によるもの）、別表第5（ロ）（第8条関係）（第8条第2号によるもの）、別表第5（ハ）（第9条関係）（第9条によるもの）は、2022年度入学生から適用し、2021年度以前入学生については、従前の規定による。

別表第1—1(第19条関係)(第3条第1項による場合)

		第	号
	学	位	記
大 学		(氏 名)	
之 印		(生年月日)	
本学大学院人文学研究科〇〇専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士(文学)の学位を授与する。			
年 月 日			
大 谷 大 学			

別表第1—2(第19条関係)(第3条第1項による場合)

OTANI UNIVERSITY HEREBY CONFERS UPON	
Name	(氏 名)
Date of Birth	(月 日, 年)
THE DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOPHY IN RECOGNITION OF THE FULFILLMENT OF THE REQUIREMENTS FOR THE MAJOR IN(〇〇専攻) AT THE GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES, OTANI UNIVERSITY	
(学長サイン) (学長名) President	
Date of Issue : (月 日, 年) Degree Number : (番号)	

別表第2—1(第19条関係)(第3条第2項による場合)

				第	号
		学	位	記	
大 学 之 印				(氏 名)	
				(生年月日)	
本大学に学位論文を提出し所定の審査及び試験に合格したので博士(文学)の学位を授与する。					
年 月 日					
大 谷 大 学					

別表第2—2(第19条関係)(第3条第2項による場合)

OTANI UNIVERSITY
HEREBY CONFERS UPON

Name (氏 名)
Date of Birth(月 日, 年)

THE DEGREE OF DOCTOR OF PHILOSOPHY
IN RECOGNITION OF THE ACCEPTANCE OF A DOCTORAL DISSERTATION
AT OTANI UNIVERSITY

(学長サイン)
(学長名)
President

Date of Issue : (月 日, 年)
Degree Number : (番号)

別表第3 (第19条関係) (第4条による場合)

				第	号
		学	位	記	
大 学 之 印				(氏 名)	
				(生年月日)	
	本学大学院人文学研究科〇〇専攻の修士課程において所定の単位を修得し学位論文の 審査及び最終試験に合格したので修士()の学位を授与する。				
		年	月	日	
				大	谷 大 学

別表第4(第24条関係)(第5条による場合)

		第	号
卒業証書・学位記			
大 学 之 印	(氏 名)		
	(生年月日)		
	本学 学部 学科所定の課程を修めたので本学を卒業したことを認め 学士()の学位を授与する。		
年 月 日			
大谷大学長 (氏 名)		学 長 之 印	

別表第5(イ)(第8条関係)(第8条第1号によるもの)

学位授与申請書

年 月 日

大谷大学長
殿

人文学研究科
氏 名

専攻

印

大谷大学学位規程により博士(文学)の学位の授与を受けたく博士論文を印刷製本したものの6部に下記書類及び学位論文審査料を添えて申請いたします。

記	
論 文 目 録	3 部
博士論文の要旨	3 部
電 子 デ ー タ	1 部

別表第5(ロ)(第8条関係)(第8条第2号によるもの)

学位授与申請書

年 月 日

大谷大学長
殿

人文学研究科
氏 名

専攻

印

大谷大学学位規程により博士(文学)の学位の授与を受けたく博士論文を印刷製本したもの6部に下記書類及び学位論文審査料を添えて申請いたします。

記	
論文目録	3 部
博士論文の要旨	3 部
電子データ	1 部
履歴書	1 部
業績書	1 部

別表第5(ハ)(第9条関係)(第9条によるもの)

学 位 授 与 申 請 書			
		年	月 日
大谷大学長	殿	人文学研究科	専攻
		氏 名	印
大谷大学学位規程により修士()の学位の授与を受けたく修士論文2部を添えて申請いたします。			
論 文 目 録			
主 論 文 題 名			
副 論 文 題 名			
参考論文題名			

別表第6(第8条関係)(第8条第1号及び第2号によるもの)

論文目録		
	氏名	
主論文		
題名		冊数
()
副論文		
題名		冊数
()
参考論文		
題名		冊数
()
題名		冊数
()

(註) 既に印刷公表したものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を()内に記入すること。

別表第7(第8条関係)(学位論文審査料)

学 位 授 与 申 請 者 の 内 訳			審 査 料
甲	第3条第1項による者		10,000円
乙	第3条第2項による者	本法人の設置する学校の専任教職員	100,000
		上記以外の者	200,000

別表第8(第22条関係)

(用紙の大きさは日本工業規格A4)

学 位 (博 士) 授 与 報 告 書

大 谷 大 学 大 学 院

報告番号	博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者				博士課程の修了等の状況				博士論文名	授与年月日	博士論文受理年月日	論文審査完了日
		(ふりがな)氏名	性別	生年月日	日本籍	大学院名	研究科修了(中退)(専攻)名	年	月				
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								
甲乙第号	博士(文学)				都道府県								

備考

1 報告番号は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)により授与された博士の一連番号とし、第4条第1項によるものについては「甲第 号」、同条第2項によるものについては「乙第 号」とすること。

2 博士の学位を授与された者が日本国籍以外の国籍を有する場合には、本籍に代えて当該国籍を記入すること。

3 博士論文の題名が外国語で表示されている場合には、日本語訳を()を付して記入すること。

4 この報告書は、学位規則第12条に定める期間内に、該当する者をまとめて、随時に一覧表の形で提出すること。

- 別表第1—1（第19条関係）（第3条第1項による場合）
- 別表第1—2（第19条関係）（第3条第1項による場合）
- 別表第2—1（第19条関係）（第3条第2項による場合）
- 別表第2—2（第19条関係）（第3条第2項による場合）
- 別表第3（第19条関係）（第4条による場合）
- 別表第4（第24条関係）（第5条による場合）
- 別表第5（イ）（第8条関係）（第8条第1号によるもの）
- 別表第5（ロ）（第8条関係）（第8条第2号によるもの）
- 別表第5（ハ）（第9条関係）（第9条によるもの）
- 別表第6（第8条関係）（第8条第1号及び第2号によるもの）
- 別表第7（第8条関係）（学位論文審査料）
- 別表第8（第22条関係）